

平成 27 年度

宍粟市公営企業会計決算審査意見書

{ 宍粟市水道事業特別会計
宍粟市病院事業特別会計
宍粟市農業共済事業特別会計

宍粟市監査委員

目 次

| | |
|---------------------------------------|---|
| 審査の期間・審査の場所・審査の対象・審査の方法・審査の結果・・・・・・・・ | 1 |
|---------------------------------------|---|

宍粟市水道事業特別会計

| | |
|------------------------|----|
| 1 業務実績・・・・・・・・ | 2 |
| 2 予算の執行状況・・・・・・・・ | 4 |
| 3 経営成績・・・・・・・・ | 7 |
| 4 財政状況・・・・・・・・ | 11 |
| 5 キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・ | 14 |
| 6 まとめ・・・・・・・・ | 15 |
| 参考資料 経営分析表・・・・・・・・ | 17 |

宍粟市病院事業特別会計

| | |
|------------------------|----|
| 1 業務実績・・・・・・・・ | 18 |
| 2 予算の執行状況・・・・・・・・ | 20 |
| 3 経営成績・・・・・・・・ | 22 |
| 4 財政状況・・・・・・・・ | 26 |
| 5 キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・ | 29 |
| 6 まとめ・・・・・・・・ | 30 |
| 参考資料 経営分析表・・・・・・・・ | 32 |

宍粟市農業共済事業特別会計

| | |
|------------------------|----|
| 1 業務実績・・・・・・・・ | 33 |
| 2 予算の執行状況・・・・・・・・ | 36 |
| 3 経営成績・・・・・・・・ | 37 |
| 4 財政状況・・・・・・・・ | 40 |
| 5 キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・ | 42 |
| 6 まとめ・・・・・・・・ | 43 |

平成 27 年度公営企業会計決算審査意見書

1 審査の期間

平成 28 年 6 月 6 日 ~ 平成 28 年 8 月 19 日

2 審査の場所

宍粟市役所監査委員室及び公立宍粟総合病院会議室

3 審査の対象

- (1) 平成 27 年度 宍粟市水道事業特別会計
- (2) 平成 27 年度 宍粟市病院事業特別会計
- (3) 平成 27 年度 宍粟市農業共済事業特別会計

4 審査の方法

各会計の決算審査にあたっては、市長から提出された決算書及び決算付属書類が地方公営企業法等関係法令に従って作成され、関係諸帳簿並びに証拠書類等と計数が合致しているか照合点検を行い、かつ、当該年度の経営成績及び財務状況が適正に表示されているか等必要に応じて関係職員から説明を求め確認した。

また、各事業が企業の経済性を発揮するとともに公共の福祉の増進が図られているかを主眼に審査した。

5 審査の結果

審査に付された決算書及び決算付属書類は、地方公営企業法等関係法令に準拠して作成されており、平成 27 年度の財政状況及び経営成績が適正に表示されているものと認めた。

また、予算執行及び計数処理も概ね適正に処理されているものと認めた。

各会計の決算概要及び審査の意見は次のとおりである。

水道事業特別会計

1 業務実績

業務量の前年度比較は、第1表のとおりである。

給水件数は当年度末現在 14,393 件で、前年度末に比べて 89 件(0.62%)増加、給水人口は 39,135 人と 575 人(1.45%)減少している。

年間総配水量は 4,302,991 m³で前年度に比べ 81,579 m³(1.93%)、年間総有効水量は 3,797,745 m³で 45,543 m³(1.21%)増加しているが、有効率は 88.26%で前年度に対して 0.63 ポイント減少している。また、年間総有収水量については 3,627,122 m³で 30,764 m³(0.86%)増加したが、有収率は 84.29%と前年度に対して 0.90 ポイント減少している。

施設平均利用率は 63.83%で、前年度に比べ 1.04 ポイント増加し、施設最大利用率は 88.45%となり、前年度と比べて 11.55 ポイント増加している。

第1表 業務量の比較

(単位：人・件・km・m³・%)

| 区 分 | 平成27年度 | 平成26年度 | 対 前 年 度 増 減 | |
|---------------------|-----------|-----------|-------------|-------|
| | | | 数 値 | 率 |
| 計 画 給 水 人 口 | 41,200 | 41,200 | 0 | 0.00 |
| 給 水 人 口 | 39,135 | 39,710 | 575 | 1.45 |
| 給 水 件 数 | 14,393 | 14,304 | 89 | 0.62 |
| 送 配 水 管 延 長 | 647.44 | 647.44 | 0.00 | 0.00 |
| 年 間 総 配 水 量 | 4,302,991 | 4,221,412 | 81,579 | 1.93 |
| 年 間 総 有 効 水 量 | 3,797,745 | 3,752,202 | 45,543 | 1.21 |
| 有 効 率 | 88.26% | 88.88% | 0.63 | 0.63 |
| 年 間 総 有 収 水 量 | 3,627,122 | 3,596,358 | 30,764 | 0.86 |
| 有 収 率 | 84.29% | 85.19% | 0.90 | 0.90 |
| 1 日 当 の 最 大 配 水 能 力 | 18,418 | 18,418 | 0 | 0.00 |
| 1 日 当 の 平 均 配 水 能 力 | 18,418 | 18,418 | 0 | 0.00 |
| 1 日 平 均 配 水 量 | 11,757 | 11,566 | 191 | 1.65 |
| 施 設 平 均 利 用 率 | 63.83% | 62.80% | 1.04 | 1.04 |
| 1 日 最 大 配 水 量 | 16,291 | 14,164 | 2,127 | 15.02 |
| 施 設 最 大 利 用 率 | 88.45% | 76.90% | 11.55 | 11.55 |

備考 1 給水人口、給水件数は年度末現在の数値である。

2 有効率 = 有効水量 / 配水量 × 100

3 有収率 = 有収水量 / 配水量 × 100

4 施設平均利用率 = 1日平均配水量 / 1日当りの平均配水能力 × 100

5 施設最大利用率 = 1日最大配水量 / 1日当りの最大配水能力 × 100

配水量の分析表

| | | | | |
|-----|------|-------------|----------------------------------|---------------------------------------|
| 配水量 | 有効水量 | 有収水量 | 料 金 水 量 | ・料金徴収の基礎となった水量 ・定額栓及びその認定水量 |
| | | | 分 水 量 | 他の水道に対して分水した水量 |
| | | | そ の 他 | 消防用等の水量で他会計から維持管理費等として収入のある水量 |
| | | 無収水量 | メ ー タ ー 不 感 水 量 | 有効に使用された水量の内、メーター不感のため料金徴収の対象とならない水量 |
| | | | 事 業 用 水 量 | 管洗浄用水、漏水防止作業用水等配水施設に係る部内事業に使用した水量 |
| | | | そ の 他 | 消防用等の水量で他会計から維持管理費等として使用し、料金収入の全くない水量 |
| | 無効水量 | 調 定 減 額 水 量 | 赤水等のため、料金徴収のとき調定の減額対象となった水量 | |
| | | 漏 水 量 | 配水管等からの漏水した水量 | |
| | | そ の 他 | 他に起因する水道施設の損傷等により、無効となった水量及び不明水量 | |

2 予算の執行状況

(1) 収益的収支

収益的収支の執行状況は、第2表のとおりである。

収益的収入では、予算額 1,201,409,000 円に対して決算額 1,202,354,935 円で、執行率は 100.1% (945,935 円の増) となっている。営業収益は 99.2%の執行率となっており、主に、給水収益で 4,585,362 円、その他営業収益も 1,396,694 円予算額を下回っている。一方、営業外収益においては、他会計補助金が 24,868 円、受取利息及び配当金で 376,838 円予算額を下回ったが、長期前受金戻入で 7,227,243 円、雑収益が 403,454 円予算額を上回ったため、101.7%の執行率となっている。

収益的支出では、予算額 1,547,668,000 円に対して決算額 1,485,069,408 円で、執行率は 96.0% (不用額 62,598,592 円) となっている。主に営業費用で減価償却費が 11,938,314 円、資産減耗費が 11,420,455 円予算額を上回っているが、原水及び浄水費が 17,114,195 円、配水及び給水費が 21,927,099 円、総係費が 1,862,537 円、営業外費用で支払利息及び企業債取扱諸費が 4,674,634 円、雑支出が 34,759,441 円予算を下回っていることが原因となっている。

第2表 収益的収支の執行状況

(単位：円・%)

| 区 分 | 予 算 額 | | 決 算 額 | | 予算額に対する決算額の増減または不用額 | 執行率 |
|-----------------|----------------------|---------------|----------------------|---------------|---------------------|---------------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | | |
| 1 水道事業収益 | 1,201,409,000 | 100.0% | 1,202,354,935 | 100.0% | 945,935 | 100.1% |
| (1) 営業収益 | 769,408,000 | 64.0% | 763,125,944 | 63.5% | 6,282,056 | 99.2% |
| 給水収益 | 727,043,000 | 60.5% | 722,457,638 | 60.1% | 4,585,362 | 99.4% |
| 受託工事収益 | 300,000 | 0.0% | 0 | 0.0% | 300,000 | 0.0% |
| その他営業収益 | 42,065,000 | 3.5% | 40,668,306 | 3.4% | 1,396,694 | 96.7% |
| (2) 営業外収益 | 432,000,000 | 36.0% | 439,228,991 | 36.5% | 7,228,991 | 101.7% |
| 受取利息及び配当金 | 5,650,000 | 0.5% | 5,273,162 | 0.4% | 376,838 | 93.3% |
| 他会計補助金 | 209,270,000 | 17.4% | 209,245,132 | 17.4% | 24,868 | 100.0% |
| 長期前受金戻入 | 216,915,000 | 18.1% | 224,142,243 | 18.6% | 7,227,243 | 103.3% |
| 雑収益 | 165,000 | 0.0% | 568,454 | 0.0% | 403,454 | 344.5% |
| (3) 特別利益 | 1,000 | 0.0% | 0 | 0.0% | 1,000 | - |
| 過年度損益修正益 | 1,000 | 0.0% | 0 | 0.0% | 1,000 | - |
| 1 水道事業費用 | 1,547,668,000 | 100.0% | 1,485,069,408 | 100.0% | 62,598,592 | 96.0% |
| (1) 営業費用 | 1,274,443,000 | 82.3% | 1,252,197,364 | 84.3% | 22,245,636 | 98.3% |
| 原水及び浄水費 | 261,548,000 | 16.9% | 244,433,805 | 16.5% | 17,114,195 | 93.5% |
| 配水及び給水費 | 139,411,000 | 9.0% | 117,483,901 | 7.9% | 21,927,099 | 84.3% |
| 受託工事費 | 300,000 | 0.0% | 0 | 0.0% | 300,000 | - |
| 総係費 | 80,353,000 | 5.2% | 78,490,463 | 5.3% | 1,862,537 | 97.7% |
| 減価償却費 | 781,155,000 | 50.5% | 793,093,314 | 53.4% | 11,938,314 | 101.5% |
| 資産減耗費 | 1,000 | 0.0% | 11,421,455 | 0.8% | 11,420,455 | 1142145.5% |
| その他営業費用 | 11,675,000 | 0.8% | 7,274,426 | 0.5% | 4,400,574 | 62.3% |
| (2) 営業外費用 | 273,224,000 | 17.7% | 232,872,044 | 15.7% | 40,351,956 | 85.2% |
| 支払利息及び企業債取扱諸費 | 212,224,000 | 13.7% | 207,549,366 | 14.0% | 4,674,634 | 97.8% |
| 雑支出 | 36,000,000 | 2.3% | 1,240,559 | 0.1% | 34,759,441 | 3.4% |
| 消費税 | 25,000,000 | 1.6% | 24,082,119 | 1.6% | 917,881 | 96.3% |
| (3) 特別損失 | 1,000 | 0.0% | 0 | 0.0% | 1,000 | 0.0% |
| 過年度損益修正損 | 1,000 | 0.0% | 0 | 0.0% | 1,000 | 0.0% |
| その他特別損失 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | - |

備考 1. 予算額及び決算額には消費税が含まれている。

(2) 資本的収支

資本的収支の執行状況は、第3表のとおりである。

当年度の資本的収入の決算額は 681,191,240 円である。これに対し、資本的支出の決算額は 1,167,396,735 円で、その不足する 486,205,495 円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 6,464,104 円、当年度損益勘定留保資金 290,980,397 円、過年度分損益勘定留保資金 188,760,994 円で補てんしている。

第3表 資本的収支の執行状況

(単位：円・%)

| 区 分 | 予 算 額 | | 決 算 額 | | 予算額に対する決算額の増減または不用額 | 執行率 |
|--------------------|----------------------|---------------|----------------------|---------------|---------------------|--------------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | | |
| 1 資 本 的 収 入 | 782,245,000 | 100.0% | 681,191,240 | 100.0% | 101,053,760 | 87.1% |
| (1) 企 業 債 | 433,300,000 | 55.4% | 349,600,000 | 51.3% | 83,700,000 | 80.7% |
| 企 業 債 | 433,300,000 | 55.4% | 349,600,000 | 51.3% | 83,700,000 | 80.7% |
| 災 害 復 旧 債 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | - |
| (2) 負 担 金 | 5,100,000 | 0.7% | 0 | 0.0% | 5,100,000 | 0.0% |
| 工 事 負 担 金 | 4,100,000 | 0.5% | 0 | 0.0% | 4,100,000 | 0.0% |
| 他 会 計 負 担 金 | 1,000,000 | 0.1% | 0 | 0.0% | 1,000,000 | 0.0% |
| (3) 補 助 金 | 297,045,000 | 38.0% | 296,684,240 | 43.6% | 360,760 | 99.9% |
| 他 会 計 補 助 金 | 297,045,000 | 38.0% | 296,684,240 | 43.6% | 360,760 | 99.9% |
| (4) 国 庫 補 助 金 | 46,800,000 | 6.0% | 34,907,000 | 5.1% | 11,893,000 | - |
| 国 庫 補 助 金 | 46,800,000 | 6.0% | 34,907,000 | 5.1% | 11,893,000 | - |
| 1 資 本 的 支 出 | 1,303,250,000 | 100.0% | 1,167,396,735 | 100.0% | 135,853,265 | 89.6% |
| (1) 建 設 改 良 費 | 588,307,000 | 45.1% | 452,454,376 | 38.8% | 135,852,624 | 76.9% |
| 配 水 施 設 工 事 費 | 585,874,000 | 45.0% | 450,296,563 | 38.6% | 135,577,437 | 76.9% |
| 給 水 施 設 工 事 費 | 391,000 | 0.0% | 116,175 | 0.0% | 274,825 | 29.7% |
| 固 定 資 産 購 入 費 | 2,042,000 | 0.2% | 2,041,638 | 0.2% | 362 | 100.0% |
| 災 害 復 旧 費 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | - |
| (2) 企 業 債 償 還 金 | 714,943,000 | 54.9% | 714,942,359 | 61.2% | 641 | 100.0% |
| 企 業 債 償 還 金 | 714,943,000 | 54.9% | 714,942,359 | 61.2% | 641 | 100.0% |

備考 1. 予算額及び決算額には消費税が含まれている。

資本的収入

資本的収入は予算額 782,245,000 円に対して決算額 681,191,240 円である。執行率は 87.1% で予算額に比べ 101,053,760 円収入減となっている。これは主に本年度の執行予定事業量が減となったことにより、財源として必要な企業債、工事負担金、国庫補助金が減となった。

「企業債」は 349,600,000 円で資本的収入の 51.3% を占めている。内訳として、上寺浄水場第 2 期改良工事（送水施設制御盤改修工事、ポンプ施設改修工事、発電設備改修工事）83,820,000 円、上水道水源確保事業（水源地ポンプ場詳細設計業務委託料）115,400,000 円、水道老朽水管橋等施設整備事業 46,850,000 円、水道施設遠方監視システム整備事業 29,610,000 円、水道施設老朽機器更新事業 73,920,000 円に充当している。

「負担金」は 0 円で皆減となった。

「補助金」は 296,684,240 円で資本的収入の 43.6% を占めており、繰入基準に基づき、上水道区域へ統合した簡易水道事業債の償還金元金分の 296,684,240 円を受け入れたものである。

「国庫補助金」は 34,907,000 円で水道施設遠方監視システム整備事業に 9,567,000 円、水道施設老朽機器更新事業に 25,340,000 円を充当している。

資本的支出

資本的支出は予算額 1,303,250,000 円に対して決算額 1,167,396,735 円である。執行率は 89.6% となっており、不用額は 135,853,265 円となっている。主な原因としては、各事業における入札減による。

「建設改良費」は 452,454,376 円で資本的支出の 38.8% を占めており、主なものは、遠方監視システム整備工事 41,945 千円、水道施設老朽機器更新工事 103,791 千円、上寺浄水場第 2 期改良工事 86,019 千円、水源確保工事 121,620 千円、老朽配水管等更新工事 51,232 千円となっている。

「企業債償還金（元金）」は 714,942,359 円で資本的支出の 61.2% を占めている。

3 経営成績

(1) 損益状況

損益状況の前年度比較は、第4表のとおりである。

当年度は、経常収益 1,146,626,431 円に対して経常費用 1,436,018,560 円で、差引 289,392,129 円の経常損失を計上しているが、今年度は特別損失の計上が無いため、当年度純損益も同額となっている。これに前年度繰越利益欠損金 214,020,710 円を加えた当該年度未処分欠損金は 503,412,839 円となっている。

本年度は、前年度と比べると、費用が 33,995,792 円(2.31%) 減少したが、収益についても 138,124,673 円(10.75%) の減少となったため、経常損失額が 104,128,881 円増となっている。

営業収支比率が 57.6%と 6.2 ポイント下降、経常収支比率についても 79.8%で前年度に比べると 7.6 ポイント下降しているが、前年度は統合した簡易水道事業会計における未収料金及び決算剰余金を計上していたことによるものが大きい。

第4表 損益状況の比較

(単位:円・%)

| 区 分 | 平成27年度 | | 平成26年度 | | 対前年度増減 | |
|-------------------------|----------------------|---------------|----------------------|---------------|--------------------|--------------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 率 |
| 収 益 | 1,146,626,431 | 100.0% | 1,284,751,104 | 100.0% | 138,124,673 | 10.75 |
| 営業収益 | 707,404,983 | 61.7% | 783,894,836 | 61.0% | 76,489,853 | 9.76 |
| 給水収益 | 668,998,553 | 58.3% | 734,696,270 | 57.2% | 65,697,717 | 8.94 |
| 受託工事収益 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | - |
| その他営業収益 | 38,406,430 | 3.3% | 49,198,566 | 3.8% | 10,792,136 | 21.94 |
| 営業外収益 | 439,221,448 | 38.3% | 500,856,268 | 39.0% | 61,634,820 | 12.31 |
| 受取利息及び配当金 | 5,273,162 | 0.5% | 5,667,465 | 0.4% | 394,303 | 6.96 |
| 他会計補助金 | 209,245,132 | 18.2% | 236,992,922 | 18.4% | 27,747,790 | 11.71 |
| 長期前受金受入 | 224,142,243 | 19.5% | 217,192,862 | 16.9% | 6,949,381 | |
| 雑収益 | 560,911 | 0.0% | 41,003,019 | 3.2% | 40,442,108 | 98.63 |
| 当年度消費税差益 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | - |
| 費 用 | 1,436,018,560 | 100.0% | 1,470,014,352 | 100.0% | 33,995,792 | 2.31 |
| 営業費用 | 1,227,247,211 | 85.5% | 1,229,608,715 | 83.6% | 2,361,504 | 0.19 |
| 原水及び浄水費 | 227,167,727 | 15.8% | 235,534,367 | 16.0% | 8,366,640 | 3.55 |
| 配水及び給水費 | 111,911,181 | 7.8% | 97,368,355 | 6.6% | 14,542,826 | 14.94 |
| 受託工事費 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | - |
| 総係費 | 76,915,384 | 5.4% | 88,218,523 | 6.0% | 11,303,139 | 12.81 |
| 減価償却費 | 793,093,314 | 55.2% | 800,488,872 | 54.5% | 7,395,558 | 0.92 |
| 資産減耗費 | 11,421,455 | 0.8% | 392,331 | 0.0% | 11,029,124 | 2,811.18 |
| その他営業費用 | 6,738,150 | 0.5% | 7,606,267 | 0.5% | 868,117 | 11.41 |
| 営業外費用 | 208,771,349 | 14.5% | 240,405,637 | 16.4% | 31,634,288 | 13.16 |
| 支払利息及び企業債取 扱諸費 | 207,549,366 | 14.5% | 221,388,332 | 15.1% | 13,838,966 | 6.25 |
| 雑支出 | 1,221,983 | 0.1% | 19,017,305 | 1.3% | 17,795,322 | 93.57 |
| 経常利益 | 289,392,129 | | 185,263,248 | | 104,128,881 | |
| 特別損失 | 0 | 0.0% | 8,576,000 | 0.6% | 8,576,000 | 100.00 |
| 過年度損益修正損 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | - |
| その他特別損失 | 0 | 0.0% | 8,576,000 | 0.6% | 8,576,000 | |
| 当該年度純利益 | 289,392,129 | | 193,839,248 | | 95,552,881 | |
| 前年度繰越利益剰余金 (欠損金) | 214,020,710 | | 20,181,462 | | 193,839,248 | |
| 当年度末処分利益剰余金 (未処理欠損金) | 503,412,839 | | 214,020,710 | | 289,392,129 | |
| 営業損益 (営業収益 - 営業費用) | 519,842,228 | | 445,713,879 | | 74,128,349 | |
| 営業収支比率 (営業収益 / 営業費用) | 57.6% | | 63.8% | | 6.2% | |
| 経常収支比率 (収益 / 費用) | 79.8% | | 87.4% | | 7.6% | |

(2) 収 益

営業収益

営業収益は707,404,983円で、前年度に比べ76,489,853円(9.76%)減少している。

「給水収益」は668,998,553円で、収益の58.3%を占めており、前年度は簡易水道事業会計統合による未収金を計上していたことにより、前年度に比べ65,697,717円(8.94%)減少してい

る。

「その他営業収益」は 38,406,430 円で、主な内訳は、加入者分担金が 20,792,616 円、下水道料金収納事務委託料が 5,059,260 円、他会計負担金 9,471,563 円等である。前年度に比べ 10,792,136 円（ 21.94% ）減少している。これは、分譲地等の加入者分担金が 10,167 千円減となったことによる。

営業外収益

営業外収益は 439,221,448 円で、前年度に比べ 61,634,820 円減少している。

「受取利息及び配当金」は 5,273,162 円で、定期預金残高の減に伴う利子収入の減により前年度に比べ 394,303 円（ 6.96% ）減少している。

「他会計補助金」は 209,245,132 円で、前年度比 27,747,790 円の減となっている。統合簡水債の償還利子にかかる繰入金 5,405,664 円の減、また高料金対策繰入金 22,442,958 円の減によるものである。

「長期前受金受入」は 224,142,243 円で、前年度より 6,949,381 円増加している。

「雑収益」は 560,911 円で、前年度より 40,442,108 円減少しているが、主に簡易水道事業会計の打切決算に伴い計上されていた決算余剰金 35,428,446 円の皆減によるものである。

（ 3 ） 費 用

営業費用

営業費用は 1,227,247,211 円で、前年度に比べ 2,361,504 円（ 0.19% ）減少している。

「原水及び浄水費」は 227,167,727 円で、費用の 15.8% を占めている。主な内訳は人件費（給料・手当・賞与引当金繰入額・法定福利費）9,317,745 円、委託料 146,677,725 円、動力費 58,112,325 円等である。前年度に比べ 8,366,640 円（ 3.55% ）減少している。

「配水及び給水費」は 111,911,181 円で、費用の 7.8% を占めている。主な内訳は人件費（給料・手当・賞与引当金繰入額・法定福利費）37,114,324 円、修繕費 25,222,311 円、動力費 30,530,963 円等である。前年度に比べ 14,542,826 円（ 14.94% ）増加している。

「総係費」は事務的な業務に要した費用であり、76,915,384 円で、費用の 5.4% を占めている。主な内訳は職員人件費（給料・手当・賞与引当金繰入額・法定福利費）52,310,523 円、検針等委託料 11,737,890 円、賃金 4,172,980 円等である。前年度に比べ 11,303,139 円（ 12.81% ）減少している。

「減価償却費」は 793,093,314 円で、費用の 55.2% を占めている。前年度に比べ 7,395,558 円（ 0.92% ）減少している。

「資産減耗費」は 11,421,455 円で前年度に比べ 11,029,124 円（ 2,811.18% ）増加となっている。これは、更新工事に伴って除却した資産の除却損の増による。

「その他営業費用」の 6,738,150 円で、主なものは激変緩和助成金 6,703,530 円である。

営業外費用

営業外費用は208,771,349円で、前年度に比べ31,634,288円(13.16%)減少している。これは企業債支払利息が13,838,966円減少したこと、前年度に計上していた旧簡易水道会計消費税支払額13,181,200円の皆減による。

(5) 供給単価と給水原価

給水量1m³当たりの給水収益と給水原価の前年度比較は、第5表のとおりである。

当年度の1m³当たりの供給単価は184円44銭で、前年度に比べ19円85銭減少している。また、1m³当たりの給水原価は334円11銭で、前年度に比べ14円23銭減少している。

この結果、1m³当たりの供給単価と給水原価の差引は、前年度より赤字幅は5円62銭増加し、149円67銭の赤字となっている。

第5表 1m³当たり給水収益と給水原価の比較

(単位:円・m³・%)

| 区 分 | 平成27年度 | | | | 平成26年度 | | | | 対前年度増減 | | | |
|--------------------------|---------------|--------|---------------------------|----------------|---------------|--------|---------------------------|----------------|------------|--------|---------------------------|----------------|
| | 金 額 | 構成比 | 有収水量 (m ³) | 供給単価又は 給水原価 | 金 額 | 構成比 | 有収水量 (m ³) | 供給単価又は 給水原価 | 金 額 | 構成比 | 有収水量 (m ³) | 供給単価又は 給水原価 |
| 給水収益 | 668,998,553 | 100.0% | 3,627,122 | 184.44 | 734,696,270 | 100.0% | 3,596,358 | 204.29 | 65,697,717 | 100.0% | 30,764 | 19.85 |
| 給水費用 | 1,211,841,697 | 100.0% | 3,627,122 | 334.11 | 1,252,745,156 | 100.0% | 3,596,358 | 348.34 | 40,903,459 | 100.0% | 30,764 | 14.23 |
| 職員給与費 | 97,510,559 | 8.0% | - | 26.88 | 90,981,361 | 7.3% | - | 25.30 | 6,529,198 | | - | 1.59 |
| 支 払 利 息 | 207,549,366 | 17.1% | - | 57.22 | 221,388,332 | 17.7% | - | 61.56 | 13,838,966 | | - | 4.34 |
| 減価償却費 | 793,093,314 | 65.4% | - | 218.66 | 800,488,872 | 63.9% | - | 222.58 | 7,395,558 | | - | 3.93 |
| そ の 他 | 337,830,701 | 9.4% | - | 93.14 | 357,079,453 | 11.2% | - | 99.29 | 19,248,752 | | - | 6.15 |
| 長期前受金額 | 224,142,243 | 8.0% | - | 61.80 | 217,192,862 | 7.3% | - | 60.39 | 6,949,381 | | - | 1.40 |
| 差引 (-) | 542,843,144 | - | - | 149.67 | 518,048,886 | - | - | 144.05 | 24,794,258 | - | - | 5.62 |
| 供給単価対給水 原価比率 (/) | 55.21% | | | | 58.65% | | | | 3.44% | | | |

2. 給水原価=給水費用/有収水量(m³) (ただし、給水費用の中には受託工事費、材料売却原価、特別損失は含まない。)

3. 職員給与費は、基本給、手当、法定福利費である。

4. その他は、動力費、光熱水費、通信運搬費、修繕費、材料費、薬品費、路面復旧費、委託料、負担金等である。

4 財政状況

貸借対照表の前年度比較は、第6表のとおりである。

第6表 貸借対照表の比較

(単位：円・%)

| 区 分 | 平成27年度末 | | 平成26年度末 | | 対前年度増減 | |
|-------------------------|-----------------------|---------------|-----------------------|---------------|--------------------|------------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 率 |
| 資 産 | 19,390,120,189 | 100.0% | 19,843,438,800 | 100.0% | 453,318,611 | 2.3 |
| 1 固 定 資 産 | 18,272,454,607 | 94.2% | 18,655,388,112 | 94.0% | 382,933,505 | 2.1 |
| (1) 有 形 固 定 資 産 | 17,972,484,607 | 92.7% | 18,355,418,112 | 92.5% | 382,933,505 | 2.1 |
| 土 地 | 580,296,965 | 3.0% | 580,296,965 | 2.9% | 0 | 0.0 |
| 建 物 | 436,095,846 | 2.2% | 441,001,587 | 2.2% | 4,905,741 | 1.1 |
| 構 築 物 | 14,441,542,621 | 74.5% | 14,932,917,913 | 75.3% | 491,375,292 | 3.3 |
| 機 械 及 び 装 置 | 1,882,588,389 | 9.7% | 2,003,041,050 | 10.1% | 120,452,661 | 6.0 |
| 車 両 及 び 運 搬 具 | 2,054,408 | 0.0% | 776,808 | 0.0% | 1,277,600 | 164.5 |
| 工 具 器 具 及 び 備 品 | 8,950 | 0.0% | 8,950 | 0.0% | 0 | 0.0 |
| 建 設 仮 勘 定 | 629,897,428 | 3.2% | 397,374,839 | 2.0% | 232,522,589 | 58.5 |
| (2) 投 資 | 299,970,000 | 1.5% | 299,970,000 | 1.5% | 0 | 0.0 |
| 投 資 有 価 証 券 | 299,970,000 | 1.5% | 299,970,000 | 1.5% | 0 | 0.0 |
| 2 流 動 資 産 | 1,117,665,582 | 5.8% | 1,188,050,688 | 6.0% | 70,385,106 | 5.9 |
| (1) 現 金 預 金 | 967,998,937 | 5.0% | 1,044,740,187 | 5.3% | 76,741,250 | 7.3 |
| (2) 未 収 金 | 137,678,446 | 0.7% | 130,668,807 | 0.7% | 7,009,639 | 5.4 |
| 貸 倒 引 当 金 | 784,000 | 0.0% | 673,000 | - | - | - |
| (3) 貯 蔵 品 | 12,772,199 | 0.1% | 13,314,694 | 0.1% | 542,495 | 4.1 |
| (4) そ の 他 流 動 資 産 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0 |
| 負 債 及 び 資 本 | 19,390,120,189 | 100.0% | 19,843,438,800 | 100.0% | 453,318,611 | 2.3 |
| 負 債 | 14,627,471,402 | 75.4% | 15,066,258,819 | 75.9% | 438,787,417 | 2.9 |
| 3 固 定 負 債 | 8,478,093,319 | 43.7% | 8,861,162,134 | 44.7% | 383,068,815 | 4.3 |
| (1) 企 業 債 | 8,478,093,319 | 43.7% | 8,861,162,134 | 44.7% | 383,068,815 | 4.3 |
| 4 流 動 負 債 | 1,086,244,157 | 5.6% | 950,141,813 | 4.8% | 136,102,344 | 14.3 |
| (1) 企 業 債 | 732,668,815 | 3.8% | 714,942,359 | 3.6% | 17,726,456 | 2.5 |
| (2) 他 会 計 借 入 金 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | - |
| (3) 未 払 金 | 335,947,233 | 1.7% | 221,273,054 | 1.1% | 114,674,179 | 51.8 |
| (4) 預 り 金 | 9,252,109 | 0.0% | 5,668,400 | 0.0% | 3,583,709 | 63.2 |
| (5) 賞 与 引 当 金 | 8,376,000 | 0.0% | 8,258,000 | 0.0% | 118,000 | 1.4 |
| 5 繰 延 収 益 | 5,063,133,926 | 26.1% | 5,254,954,872 | 26.5% | 191,820,946 | 3.7 |
| (1) 長 期 前 受 金 | 9,087,919,675 | 46.9% | 9,116,233,891 | 45.9% | 28,314,216 | 0.3 |
| 収 益 化 累 計 額 | 4,024,785,749 | 20.8% | 3,861,279,019 | 19.5% | 163,506,730 | 4.2 |
| 資 本 | 4,762,648,787 | 24.6% | 4,777,179,981 | 24.1% | 14,531,194 | 0.3 |
| 6 資 本 金 | 5,259,553,844 | 27.1% | 4,984,692,909 | 25.1% | 274,860,935 | 5.5 |
| (1) 自 己 資 本 金 | 4,228,553,844 | 21.8% | 3,953,692,909 | 19.9% | 274,860,935 | 7.0 |
| (2) 借 入 資 本 金 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | - |
| 企 業 債 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | - |
| (3) 出 資 金 | 1,031,000,000 | 5.3% | 1,031,000,000 | 5.2% | 0 | 0.0 |
| 7 剰 余 金 | 496,905,057 | -2.6% | 207,512,928 | -1.0% | 289,392,129 | 139.5 |
| (1) 資 本 剰 余 金 | 6,507,782 | 0.0% | 6,507,782 | 0.0% | 0 | 0.0 |
| 再 評 価 積 立 金 | 6,507,782 | 0.0% | 6,507,782 | 0.0% | 0 | 0.0 |
| 受 贈 財 産 評 価 額 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | - |
| 補 助 金 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | - |
| 工 事 負 担 金 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | - |
| (2) 利 益 剰 余 金 | 503,412,839 | -2.6% | 214,020,710 | -1.1% | 289,392,129 | 135.2 |
| 当 該 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 | 503,412,839 | -2.6% | 214,020,710 | -1.1% | 289,392,129 | 135.2 |
| (内 当 該 年 度 純 収 益) | (289,392,129) | - | (193,839,248) | - | (95,552,881) | - |

(1) 資産

資産総額は 19,390,120,189 円で、前年度末に比べ 453,318,611 円(2.3%)の減少となった。

固定資産

有形固定資産は総額 18,272,454,607 円で、前年度末に比べ 382,933,505 円(2.1%)減少している。

「土地」は 580,296,965 円で、前年度末と増減はない。

「建物」は 436,095,846 円で、前年度末に比べ 4,905,741 円(1.1%)減少している。

「構築物」は 14,441,542,621 円で、前年度末に比べ 491,375,292 円(3.3%)減少している。

「機械及び装置」は 1,882,588,389 円で、前年度末に比べ 120,452,661 円(6.0%)減少している。

「車両及び運搬具」については、公用車購入により前年度より 1,277,600 円増加し、2,054,408 円となっている。

「工具器具及び備品」については、8,950 円で前年度末と増減はない。

「建設仮勘定」は 629,897,428 円で、前年度末に比べ 232,522,589 円(58.5%)増加している。これは建設改良事業を多く実施したためである。

「投資」は東京都債を計上しており、299,970,000 円で前年度末に比べ同額となっている。

流動資産

流動資産は 1,117,665,582 円で、前年度末に比べ 70,385,106 円(5.9%)減少している。

「現金預金」は 967,998,937 円で、前年度末に比べ 76,741,250 円(7.3%)減少している。

定期預金 300,000,000 円と当座預金 667,998,937 円により保管されている。

「未収金」は 137,678,446 円で、前年度末に比べ 7,009,639 円(5.4%)増加している。

主なものは、水道料金の未収金 117,841,650 円と受託料 5,464,000 円、他会計負担金 9,471,563 円である。

「貯蔵品」は 12,772,199 円で、前年度末に比べ 542,495 円(4.1%)減少している。

(2) 負債

負債の総額は 14,627,471,402 円で、前年度末に比べ 438,787,417 円減少している。

固定負債

企業債残高のうち、期末より償還期限が 1 年以降に到達する部分を除いた、8,478,093,319 円を計上している。

流動負債

流動負債は、1,086,244,157 円で、前年度と比べて 136,102,344 円の増となった。

期末より1年以内に償還期限の到達する、短期「企業債」は、732,668,815円で前年度と比べて17,726,456円の増となった。

「未払金」は335,947,233円で、内訳は、主として営業費用にかかる未払金が34,158,980円、建設改良費未払金が301,362,262円である。前年度末に比べ114,674,179円(51.8%)増加している。これは建設改良費に伴う未払金が増加したことによる。

繰延勘定

償却資産の取得又は改良に伴い交付されてきた補助金等9,087,919,675円から、減価償却見合い分として収益化した4,024,785,749円を減じた、5,063,133,926円を計上している。

(3) 資本

資本総額は4,762,648,787円で、前年度末に比べ14,531,194円(0.3%)減少している。

資本金

資本金は5,259,553,844円で、前年度末に比べ274,860,935円(5.5%)増加している。これは、統合簡水債償還元金に対する一般会計からの繰入金を計上したためである。

出資金は前年度と同額の1,031,000,000円となっている。

剰余金

剰余金は496,905,057円で、前年度末に比べ289,392,129円(139.5%)減少している。

資本剰余金は6,507,782円で、前年度末と増減はない。

当年度の企業の営業活動の結果発生した当年度純損失は、前年度からの「繰越利益剰余金」とあわせて「翌年度への繰越利益剰余金」として処理されている。前年度末未処分利益剰余金214,020,710円から、当年度純損失289,392,129円を差し引いた503,412,839円となっている。

水道料金の未収状況については、表7表のとおりである。

第7表 水道料金の未収状況

(H28.3月末現在)

(単位:件・円)

| 区分 | 16年度以前分 | 17年度分 | 18年度分 | 19年度分 | 20年度分 | 21年度分 | 22年度分 | 23年度分 | 24年度分 | 25年度分 | 26年度分 | 27年度分 | 計 | |
|-----------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-------------|
| 26年度決算額 | 件数 | 723 | 333 | 374 | 520 | 631 | 751 | 1,069 | 1,365 | 1,762 | 2,107 | 16,723 | - | 26,358 |
| | 金額 | 2,419,464 | 1,127,421 | 1,706,312 | 2,599,417 | 2,804,090 | 3,165,626 | 4,803,613 | 6,287,636 | 8,866,108 | 11,198,877 | 68,702,914 | - | 113,681,480 |
| 27年度収納額 | 件数 | 14 | 19 | 30 | 26 | 71 | 65 | 112 | 191 | 378 | 436 | 14,814 | - | 16,156 |
| | 金額 | 57,868 | 85,000 | 182,087 | 120,884 | 260,937 | 262,611 | 578,589 | 890,118 | 2,067,844 | 2,471,472 | 59,642,896 | - | 66,620,306 |
| 27年度不納欠損額 | 件数 | 14 | 38 | 32 | 39 | 26 | 23 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 177 |
| | 金額 | 50,495 | 152,855 | 112,782 | 248,276 | 63,045 | 48,300 | 13,020 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 688,773 |
| 滞納解消率 | 件数 | 3.87% | 17.12% | 16.58% | 12.50% | 15.37% | 11.72% | 10.94% | 13.99% | 21.45% | 20.69% | 88.58% | - | |
| | 金額 | 2.39% | 7.54% | 10.67% | 4.65% | 9.31% | 8.30% | 12.04% | 14.16% | 23.32% | 22.07% | 86.81% | - | |
| 27年度決算額 | 件数 | 695 | 276 | 312 | 455 | 534 | 663 | 952 | 1,174 | 1,384 | 1,671 | 1,909 | 16,461 | 26,486 |
| | 金額 | 2,311,101 | 889,566 | 1,411,443 | 2,230,257 | 2,480,108 | 2,854,717 | 4,212,004 | 5,397,518 | 6,799,264 | 8,727,405 | 9,060,018 | 71,469,249 | 117,841,650 |
| 28年4月収納額 | 件数 | 0 | 1 | 2 | 1 | 7 | 10 | 9 | 11 | 28 | 43 | 41 | 13,265 | 13,418 |
| | 金額 | 6,093 | 7,875 | 7,000 | 26,255 | 26,463 | 28,952 | 64,602 | 50,807 | 169,309 | 236,314 | 174,680 | 55,979,741 | 56,778,091 |
| 28年4月末未納 | 件数 | 695 | 275 | 310 | 454 | 527 | 653 | 943 | 1,163 | 1,356 | 1,628 | 1,868 | 3,196 | 13,068 |
| | 金額 | 2,305,008 | 881,691 | 1,404,443 | 2,204,002 | 2,453,645 | 2,825,765 | 4,147,402 | 5,346,711 | 6,628,955 | 8,491,091 | 8,885,338 | 15,489,508 | 61,063,559 |

5 キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書では、事業活動によって実際に得られた収入から外部への支出を差し引いて手元に残る資金の流れを表している。

予算では資金期末残高 785,640,000 円に対して、決算額では 967,998,937 円と 182,358,937 円多く残る結果となった。

資金期首残高 1,044,740,187 円より、平成 27 年度の資金減少額 76,741,250 円(業務活動によるキャッシュ・フロー 403,000,141 円、投資活動によるキャッシュ・フロー 389,259,967 円、財務活動によるキャッシュ・フロー 90,481,424 円)を減じた結果、資金期末残高は 967,998,937 円となった。

平成27年度 宍粟市水道事業キャッシュ・フロー計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日まで)

(単位:円)

| | 予定額 | 決算額 | 予定額との差額 |
|---------------------|-------------|---------------|-------------|
| 1. 業務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 当年度純利益 | 312,759,000 | 289,392,129 | 23,366,871 |
| 減価償却費 | 781,155,000 | 793,093,314 | 11,938,314 |
| 減損損失 | 0 | 0 | 0 |
| 貸倒引当金の増加額 | 111,000 | 111,000 | 0 |
| 賞与引当金の増加額 | 118,000 | 118,000 | 0 |
| 長期前受金戻入額 | 216,915,000 | 224,142,243 | 7,227,243 |
| 受取利息及び受取配当金 | 5,650,000 | 5,273,162 | 376,838 |
| 支払利息 | 212,224,000 | 207,549,366 | 4,674,634 |
| 固定資産除却損 | 1,000 | 11,421,455 | 11,420,455 |
| 未収金の減少額 | 17,975,000 | 7,009,639 | 24,984,639 |
| 未払金の増加額 | 23,724,000 | 114,674,179 | 90,950,179 |
| たな卸資産の増加額 | 0 | 542,495 | 542,495 |
| 預り金の増加額 | 0 | 3,583,709 | 3,583,709 |
| 前払金の増加額 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | 499,984,000 | 605,276,345 | 105,292,345 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5,650,000 | 5,273,162 | 376,838 |
| 利息の支払額 | 212,224,000 | 207,549,366 | 4,674,634 |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | 293,410,000 | 403,000,141 | 109,590,141 |
| 2. 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 545,798,000 | 421,581,264 | 124,216,736 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 0 | 0 | 0 |
| 有価証券の取得による支出 | 0 | 0 | 0 |
| 有価証券の売却による収入 | 0 | 0 | 0 |
| 国庫補助金等による収入 | 46,800,000 | 32,321,297 | 14,478,703 |
| 一般会計からの繰入金による収入 | 301,601,000 | 0 | 301,601,000 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 197,397,000 | 389,259,967 | 191,862,967 |
| 3. 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 建設改良企業債による収入 | 433,300,000 | 349,600,000 | 83,700,000 |
| 建設改良企業債の償還による支出 | 714,943,000 | 714,942,359 | 641 |
| 他会計からの補助金による収入 | 0 | 274,860,935 | 274,860,935 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 281,643,000 | 90,481,424 | 191,161,576 |
| 4. 資金増加(減少)額 | 185,630,000 | 76,741,250 | 108,888,750 |
| 5. 資金期首残高 | 971,270,000 | 1,044,740,187 | 73,470,187 |
| 6. 資金期末残高 | 785,640,000 | 967,998,937 | 182,358,937 |

6 まとめ

決算の概要は前述のとおりである。

本市の上水道事業は、平成 26 年度より簡易水道事業を統合して経営を行っている。普及率（対行政区域内現在人口）は 98.5%と昨年度に比べて 0.3%の減となっているが、全国平均を上回っている。

事業規模としては、給水件数 14,393 件、給水人口 39,135 人、年間総有効水量 3,797,745 m³となった。また、年間総配水量 4,302,991 m³に対して、年間総有収水量 3,627,122 m³であり、有収率は 84.29%となり前年度より 0.9%減少している。減少した原因としては、給配水管の老朽化によるものと水質（残留塩素）保持のための管末での水抜き作業により、無効水量が増加する結果となっている。

今年度の主な主要施策としては、災害に強い、安全で安心なおいしい水を効果的に供給することを目指して、上寺浄水場第 2 期改良事業、上水道水源確保事業、上水道老朽配給水管更新事業、水道施設遠方監視システム整備事業、水道施設老朽機器更新事業等様々な事業が実施されている。現在進めている水源の複数化についても緊急時に対応できる強い施設運営管理を目指すとともに決して過大投資とならないようコスト意識を持ちながら経済的な施設運営をおこなう必要がある。また、広大な給水区域を持つ本市の水道事業においては、水道施設遠方監視システムの整備は有効かつ効果的な事業ではあるが、多額の維持管理費、特に委託料についてはコスト削減に向けたより一層の努力が必要である。

経営状況については、経常損失 289,392 千円で、特別利益、特別損失は無く当該年度純損失 289,392 千円と大きな欠損となった。これに前年度繰越利益剰余金 214,021 千円を加えた当年度末未処分利益剰余金は 503,413 千円となっている。

平成 26 年度より改正された公営企業会計において、みなし償却制度の廃止、引当金の計上等の大きな変更があったが、この改正は、事業・サービスの拡充が求められる時代から人口減少社会、インフラ強化、更新・縮小時代へ転換する中で、経営革新や経営判断に必要な損益の認識、資産・負債の把握等を正確に行うことにより民間企業との比較ができるなど、経営状況を把握することができるといわれている。今後は民間の資金、ノウハウの活用、指標による経営状況や課題を分析し、より強固な施設運営を目指す必要がある。

本市の「経常収支比率」は 79.85%、経営の効率性を示す「経費回収率」も 55.20%と独立採算制を原則とする公営企業においては、100%以上が望ましく更なる経営努力が必要であるといえる。

債務の状況を示す「企業債元利償還金対料金収入比率」は 137.89%と他市との比較はできないが決して低くない。広大な給水区域、高低差の大きな本市では、やむを得ない状況ではあるが、今後は施設の長寿命化を進めるとともに、水道使用量の拡充を図るよう PR 活動等努力されたい。

施設の状況を示す「施設老朽化率」は 8.64%と比較的新しい施設であるといえるが、更新率 1.47%となっており、今後は経営状況を分析しながら対応していく必要がある。

事業の効果を示す「施設稼働率」は、62.80%となっている。水源の水量、水質が安定しない本市

においては、やむを得ない数値であると判断するが、施設の統合、緊急時における連絡管の活用、インバーターポンプ導入等の検討など様々な面から検討する必要がある。また、遠方監視システムの構築により全市の施設の状況を把握することが可能となったが、単に監視するだけ、維持管理するだけでなく、より効率的、経済的な運転を検討されたい。

今年度末の水道料金の未収金（第7表 水道料金の未収状況参照）については、年々増加傾向にある。個々の案件を確認してみると平成13年度からの長期の滞納がある。また、1件当たりの滞納額が高額な場合があり、収納が厳しい案件も見受けられる。今後も滞納金徴収業務については、滞納者個々の状況を把握し理解しながら、安易に不納欠損とならないよう分納誓約を取るなど未収金の解消に向けた計画的な取り組みの強化に努められたい。また、建設部では、上下水道料金だけでなく、住宅使用料等の様々な使用料を取り扱っているが、水道担当課だけの取り組みでなく、部全体で連携しながら取り組まれたい。

参考資料(平成27年度経営分析表) 公営企業の経営戦略の策定支援と活用等に関する研究会(水道)

| 項目 | 数値 | 式 | 方法 | 指標の意味 | 分析の考え方 |
|---------------------------------|---------|--|----|--|---|
| 経営・財政面での指標 | | | | | |
| 経常収支比率 (経営の健全性) | 79.85% | 経常収益額 / 経常費用額 1,146,626千円 / 1,436,019千円 | | 当年度において、料収入、一般会計繰入全額の収益で、経常的な費用がどの程度賄われているかを表したものの、赤字・黒字、経営の効率性等を表すもので、民間企業では経営の健全性等の指標の基本となる。 | 独立計算を原則とする公営企業においては100%以上となっていることが望ましく、それを基準として経営の健全性、効率性等を評価することが妥当と考えられる。 |
| 資金残高対事業収支比率 (資金の余裕度) | 110.58% | (現金・預金残高 + 有価証券等の額) / 経常収益額 (967,999千円 + 299,970千円) / 1,146,626千円 | | 当該年度における収益規模(事業規模)に対する資金余力を表したものであり、日常の資金繰りの余力を表す。 | 経営環境が類似した公営企業の一般的な水準と比較して過小な場合や、施設・設備の老朽化が進んでいるにも関わらず低水準な場合には、経営の現状・将来の安定性に課題を有する可能性がある。(資金不足(比率)を生じる前のシグナルと考える見方もある。) |
| 経営の効率性 | | | | | |
| 経営回収率 (経営の効率性) | 55.20% | 供給単価の額 / 給水原価の額 184.44円/m ³ / 334.11円/m ³ | | 料金を回収するべく経費(原価)について、どの程度それが可能となっているかを表したものであり、経営の効率性を把握し、評価するとともに、料金の水準等を評価することが可能な指標 | 独立計算を原則とする公営企業においては100%以上となっていることが望ましく、それを基準として経営の効率性等を評価することが妥当と考えられる。 |
| 債務の状況 | | | | | |
| 企業債元利償還金対料収入比率(債務の重さ) | 137.89% | 企業債元利償還金の額 / 料収入の額 207,549千円 + 714,942千円 / 668,999千円 | | 当該年度における企業の債務負担の状況や投資余力等を判断する指標であり、施設・設備の建設改良のために起債した企業債の元利償還金が、料収入に対してどの程度の規模となっているかを表したものの。 | 経営環境が類似した公営企業の一般的な水準と比較して過度に高い水準にある場合や増加傾向にある場合には、当該企業の持続性・安定性に課題があるものと評価される。一方、低い水準にあるが施設・設備の老朽化が進んでいる場合には、更新投資のあり方などについて検討を要する可能性がある。 |
| 施設の状況 | | | | | |
| 減価償却累計率 (施設の老朽化の度合(会計の観点から)) | 45.67% | 減価償却累計額 / 償却資産の取得価額 (整備当初の簿価) 14,088,610千円 / 30,850,901千円 構築物の取得価額で算出 | | 固定資産・施設・設備の減価償却がどの程度進んでいるかを表したものであり、固定資産の減価償却率は、毎年(取得価額 / 耐用年数)を基本として行われるため、減価償却累計率が高いほど耐用年数に近いものと判断される。 | 経営環境が類似した公営企業の水準と比較して高水準にある、急上昇中等の場合は、老朽化が進んでいる状況であり、かつ、経営状況が悪い(経常収支比率や経営回収率が100%を下回っている。資金残高対事業収支比率が低い水準にある場合)の場合には、将来の事業継続に向けて根本的な対策を要する可能性がある。 |
| 施設老朽化率 (施設老朽化の度合(実体の観点から)) | 8.64% | 一定年数(法定耐用年数)を経過した償却資産取得価額 / 償却資産取得価額 2,719,718千円 / 31,480,798千円 | | 施設の老朽化がどの程度進んでいるかを実体面から表した指標である。 | 経営環境が類似した公営企業の水準と比較して高水準にある、急上昇中等の場合は、必要な更新投資を行うことができているかを判断することが望ましい。経常収支比率や経営回収率が100%を下回っている。資金残高対事業収支比率が低い水準にある場合には、将来の事業継続に向けて根本的な対策を要する可能性がある。また、施設・設備が新しい(耐用年数に達していない)場合には、更新投資は行わないことに留意が必要である。なお、更新を実体面からも把握するため、補助的な指標として、管路更新率(当該年度に更新した管路延長 / 管路総延長)等を把握することも考えられる。 |
| 投資の効果 | | | | | |
| 更新率 (施設老朽化への対策) | 1.47% | 更新投資の額 / 償却資産の取得価額 (整備当初の簿価) 452,455千円 / 30,850,901千円 | | 固定資産・施設・設備の整備・取得に要した価額に対して、当該年度にどの程度の更新投資が行われているかを表した指標である。老朽化や経営状況(経常収支比率や資金残高対事業収支比率)を把握するに当たっての補助的な指標である。 | 老朽化が進んでいる場合にはこの数値が低水準となっている場合には、必要な更新投資を行うことができているかを判断することが望ましい。経常収支比率や経営回収率が100%を下回っている。資金残高対事業収支比率が低い水準にある場合には、将来の事業継続に向けて根本的な対策を要する可能性がある。また、施設・設備が新しい(耐用年数に達していない)場合には、更新投資は行わないことに留意が必要である。なお、更新を実体面からも把握するため、補助的な指標として、管路更新率(当該年度に更新した管路延長 / 管路総延長)等を把握することも考えられる。 |
| 事業の効果 | | | | | |
| 有収率 (施設の効率性) | 84.29% | 年間総有収水量 / 年間総配水量 3,627.12千m ³ / 4,302.99千m ³ | | 施設・設備が対応する水量のうち、料金を回収する対象とするもの割合を表した指標であり、施設・設備の経営面での効率性等を表したものの。 | 経営状況が類似した公営企業の水準と比較して低水準にある場合には、施設・設備が効率的に運営されていない、性能が低下している等の可能性がある。 |
| 施設稼働率 (施設の活用度) | 63.83% | 一日平均配水量 / 一日配水能力(量) 11,757m ³ /日 / 18,418m ³ /日 | | 施設・設備が一日に対応可能な能力に対して、実際に使用されているものの割合(いずれも年間平均)を表した指標であり、施設・設備の事業実施面での効率性を表したものの。 | 経営環境が類似した公営企業の水準と比較して低水準である場合には、施設・設備の効率性が低い水準の能力を有しているが、当該地方公共団体に特有の事情により低水準である等の場合(例:湯水や天候等に備えて高水量の能力を維持している。時期によっては配水量・処理量が大きく変化する場合)には、年間や近年の最大配水量を記載するなど、その旨を明らかにすることが適当である。一方で、外形的な能力(いわゆる「カテゴリーバック」)が高いため、稼働率が低い(とも老朽化に伴う性能劣化等により実質的な能力が低下している。(実際の稼働率は高い)場合もあり得る。経営状況の精緻な把握や更新投資の検討等に当たっては、実質的な能力を把握することが望ましいことに留意が必要である。 |

病 院 事 業 特 別 会 計

1 業務実績

業務量の前年度比較は、第1表のとおりである。

当年度の入院・外来を合わせた延べ患者数は147,719人で、前年度に比べると1,045人(0.7%)増加している。内科1,050人(1.7%)、整形外科3,387人(36.1%)、小児科650人(6.3%)、皮膚科214人(7.0%)、精神科37人(0.8%)の5科が増加している。一方、外科2,036人(13.6%)、眼科76人(2.6%)、放射線科383人(12.9%)、泌尿器科17人(0.2%)、産婦人科1,673人(6.6%)、耳鼻咽喉科108人(4.5%)が減少する結果となっている。

入院延べ患者数は51,689人で1日平均141.2人となっている。前年度に比べると2,023人(4.1%)増加しており、病床稼働率についても68.9%と昨年と比べ2.5%の増となっている。診療科目別では、内科65人(0.2%)、整形外科3,586人(115.7%)、小児科387人(16.2%)の3科が増加している一方、外科1,208人減(15.2%)、放射線科282人(72.7%)、泌尿器科143人(14.3%)、産婦人科382人(4.4%)が減少している。

外来延べ患者数は96,030人で1日平均476.2人となっており、前年度に比べ978人(1.0%)と減少している。診療科目別では、内科985人(2.7%)、小児科263人(3.3%)、泌尿器科126人(1.8%)、皮膚科214人(7.0%)、精神科37人(0.8%)が増加したが、外科828人(11.8%)、整形外科199人(3.2%)、眼科76人(2.6%)、放射線科101人(3.9%)、産婦人科1,291人(7.8%)、耳鼻咽喉科108人(4.5%)が減少した。

第1表 業務量の比較

(単位：人・円・床・%)

| 区 分 | | | 平成27年度 | 平成26年度 | 対前年度増減 | |
|-------------|------------------|---------|---------|---------|--------|-----|
| | | | | | 差 引 | 率 |
| 患 者 数 | 入 院 | 年 間 | 51,689 | 49,666 | 2,023 | 4.1 |
| | | 一 日 平 均 | 141.2 | 136.1 | 5.1 | 3.7 |
| | 外 来 | 年 間 | 96,030 | 97,008 | 978 | 1.0 |
| | | 一 日 平 均 | 476.2 | 472.2 | 4.0 | 0.8 |
| | 計 | 年 間 | 147,719 | 146,674 | 1,045 | 0.7 |
| | 診 療 収 入 | 入 院 | 一人一日当たり | 39,915 | 39,406 | 509 |
| 外 来 | | 一人一日当たり | 11,201 | 10,983 | 218 | 2.0 |
| 年 度 末 病 床 数 | | | 205 | 205 | 0 | 0.0 |
| 病 床 利 用 率 | | | 68.9 | 66.4 | 2.5 | 3.8 |

診療収入には、その他医業収益を含まない。

診療科別患者数の状況は、第2表のとおりである。

第2表 診療科別入院・外来患者数等の状況

(単位 : 人・件・%)

| 区 分 | 平成27年度 | | 平成26年度 | | 対前年度増減 | | | |
|-----------------------|-----------|---------|---------|---------|--------|---------|------|-------|
| | 延患者数 | 一日平均患者数 | 延患者数 | 一日平均患者数 | 延患者数 | 1日平均患者数 | 率 | |
| 入 院 | 内 科 | 26,205 | 71.6 | 26,140 | 71.6 | 65 | 0.0 | 0.2 |
| | 外 科 | 6,715 | 18.3 | 7,923 | 21.7 | 1,208 | 3.4 | 15.2 |
| | 整 形 外 科 | 6,685 | 18.3 | 3,099 | 8.5 | 3,586 | 9.8 | 115.7 |
| | 眼 科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | - |
| | 放 射 線 科 | 106 | 0.3 | 388 | 1.1 | 282 | 0.8 | 72.7 |
| | 小 児 科 | 2,774 | 7.6 | 2,387 | 6.5 | 387 | 1.1 | 16.2 |
| | 泌 尿 器 科 | 857 | 2.3 | 1,000 | 2.7 | 143 | 0.4 | 14.3 |
| | 皮 膚 科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | - |
| | 産 婦 人 科 | 8,347 | 22.8 | 8,729 | 23.9 | 382 | 1.1 | 4.4 |
| | 耳 鼻 咽 喉 科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | - |
| | 精 神 科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | - |
| リハビリテーション科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | - | |
| 計 | 51,689 | 141.2 | 49,666 | 136.1 | 2,023 | 5.1 | 4.1 | |
| 外 来 | 内 科 | 37,452 | 154.1 | 36,467 | 149.5 | 985 | 4.6 | 2.7 |
| | 外 科 | 6,184 | 25.4 | 7,012 | 28.7 | 828 | 3.3 | 11.8 |
| | 整 形 外 科 | 6,075 | 41.3 | 6,274 | 42.1 | 199 | 0.8 | 3.2 |
| | 眼 科 | 2,858 | 29.2 | 2,934 | 29.0 | 76 | 0.2 | 2.6 |
| | 放 射 線 科 | 2,469 | 10.2 | 2,570 | 10.5 | 101 | 0.3 | 3.9 |
| | 小 児 科 | 8,132 | 33.5 | 7,869 | 32.3 | 263 | 1.2 | 3.3 |
| | 泌 尿 器 科 | 7,191 | 47.6 | 7,065 | 47.1 | 126 | 0.5 | 1.8 |
| | 皮 膚 科 | 3,267 | 22.4 | 3,053 | 15.7 | 214 | 6.7 | 7.0 |
| | 産 婦 人 科 | 15,292 | 62.9 | 16,583 | 68.0 | 1,291 | 5.1 | 7.8 |
| | 耳 鼻 咽 喉 科 | 2,294 | 15.9 | 2,402 | 16.6 | 108 | 0.7 | 4.5 |
| | 精 神 科 | 4,816 | 33.7 | 4,779 | 32.7 | 37 | 1.0 | 0.8 |
| リハビリテーション科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.0 | |
| 計 | 96,030 | 476.2 | 97,008 | 472.2 | 978 | 4.0 | 1.0 | |
| 合 計 | 内 科 | 63,657 | 225.7 | 62,607 | 221.1 | 1,050 | 4.6 | 1.7 |
| | 外 科 | 12,899 | 43.7 | 14,935 | 50.4 | 2,036 | 6.7 | 13.6 |
| | 整 形 外 科 | 12,760 | 59.6 | 9,373 | 50.6 | 3,387 | 9.0 | 36.1 |
| | 眼 科 | 2,858 | 29.2 | 2,934 | 29.0 | 76 | 0.2 | 2.6 |
| | 放 射 線 科 | 2,575 | 10.5 | 2,958 | 11.6 | 383 | 1.1 | 12.9 |
| | 小 児 科 | 10,906 | 41.1 | 10,256 | 38.8 | 650 | 2.3 | 6.3 |
| | 泌 尿 器 科 | 8,048 | 49.9 | 8,065 | 49.8 | 17 | 0.1 | 0.2 |
| | 皮 膚 科 | 3,267 | 22.4 | 3,053 | 15.7 | 214 | 6.7 | 7.0 |
| | 産 婦 人 科 | 23,639 | 85.7 | 25,312 | 91.9 | 1,673 | 6.2 | 6.6 |
| | 耳 鼻 咽 喉 科 | 2,294 | 15.9 | 2,402 | 16.6 | 108 | 0.7 | 4.5 |
| | 精 神 科 | 4,816 | 33.7 | 4,779 | 32.7 | 37 | 1.0 | 0.8 |
| リハビリテーション科 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | - | |
| 計 | 147,719 | 617.4 | 146,674 | 608.3 | 1,045 | 9.1 | 0.7 | |
| 人 間 ド ッ ク | 67 | | 63 | | 4 | | 6.3 | |
| 1 日 ド ッ ク | 86 | | 102 | | 16 | | 15.7 | |
| 脳 ド ッ ク | 8 | | 18 | | 10 | | 55.6 | |
| 分 娩 件 数 | 389 | | 421 | | 32 | | 7.6 | |
| 病 床 利 用 率 | 68.9% | | 66.4% | | 2.5% | | 3.8 | |
| 病 床 利 用 率 (全 国 平 均) | 69.2% | | 68.8% | | 0.4% | | 0.6 | |

1. 1日平均患者数は、入院は366日(26年度は365日)、外来は区分ごとに実診療日数で算出した。

2. 病床利用率(全国平均)は、平成25、26年度地方公営企業決算状況調査による医業収支比率100未満、200~300床の一般病院の数値である。

2 予算の執行状況

(1) 収益的収支

収益的収支の執行状況は、第3表のとおりである。

病院事業収益は予算額 4,014,338,000 円に対して決算額 3,731,213,559 円(税込)で、執行率は 92.9%となっている。医業収益で決算額 3,372,837,985 円(執行率 92.5%)、医業外収益で決算額 358,375,574 円(執行率 97.8%)となっている。

病院事業費用は予算額 4,294,435,000 円に対して決算額 3,908,974,503 円で、執行率は 91.0%となっている。主な不用額は給与費で 145,600,908 円(執行率 94.2%)、材料費で 128,335,007 円(執行率 84.5%)、経費で 86,020,168 円(執行率 85.3%)となっている。

第3表 収益的収支の執行状況

(単位:円・%)

| 区 分 | 予 算 額 | | 決 算 額 | | 予算額に対する決算額の増減または不用額 | 執行率 |
|-----------------|----------------------|---------------|----------------------|---------------|---------------------|--------------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | | |
| 1 病院事業収益 | 4,014,338,000 | 100.0% | 3,731,213,559 | 100.0% | 283,124,441 | 92.9% |
| (1) 医 業 収 益 | 3,647,823,000 | 90.9% | 3,372,837,985 | 90.4% | 274,985,015 | 92.5% |
| 入院収益 | 2,239,422,000 | 55.8% | 2,063,201,994 | 55.3% | 176,220,006 | 92.1% |
| 外来収益 | 1,200,298,000 | 29.9% | 1,076,703,966 | 28.9% | 123,594,034 | 89.7% |
| その他医業収益 | 208,103,000 | 5.2% | 232,932,025 | 6.2% | 24,829,025 | 111.9% |
| (2) 医 業 外 収 益 | 366,515,000 | 9.1% | 358,375,574 | 9.6% | 8,139,426 | 97.8% |
| 受取利息配当金 | 12,000 | 0.0% | 9,557 | 0.0% | 2,443 | 79.6% |
| 他会計補助金 | 334,836,000 | 8.3% | 323,378,000 | 3.2% | 11,458,000 | 96.6% |
| 補助金 | 4,822,000 | 0.1% | 3,692,000 | 0.1% | 1,130,000 | 76.6% |
| 患者外給食収益 | 1,138,000 | 0.0% | 1,272,080 | 0.0% | 134,080 | 111.8% |
| 長期前受金戻入 | 5,579,000 | 0.1% | 5,579,068 | 0.1% | 68 | 100.0% |
| その他医業外収益 | 20,128,000 | 0.5% | 24,444,869 | 0.7% | 4,316,869 | 121.4% |
| 1 病院事業費用 | 4,294,435,000 | 100.0% | 3,908,974,503 | 100.0% | 385,460,497 | 91.0% |
| (1) 医 業 費 用 | 4,214,676,000 | 98.1% | 3,827,694,145 | 97.9% | 386,981,855 | 90.8% |
| 給与費 | 2,505,801,000 | 56.8% | 2,360,200,092 | 60.4% | 145,600,908 | 94.2% |
| 材料費 | 826,152,000 | 19.2% | 697,816,993 | 17.9% | 128,335,007 | 84.5% |
| 経費 | 586,892,000 | 13.7% | 500,871,832 | 12.8% | 86,020,168 | 85.3% |
| 減価償却費 | 267,963,000 | 6.2% | 255,224,469 | 6.5% | 12,738,531 | 95.2% |
| 資産減耗費 | 13,848,000 | 0.3% | 3,614,774 | 0.1% | 10,233,226 | 26.1% |
| 研究研修費 | 14,020,000 | 0.3% | 9,965,985 | 0.3% | 4,054,015 | 71.1% |
| (2) 医 業 外 費 用 | 79,759,000 | 1.9% | 81,280,358 | 2.1% | 1,521,358 | 101.9% |
| 支払利息及び企業債取扱諸費 | 55,972,000 | 1.3% | 55,941,241 | 3.6% | 30,759 | 99.9% |
| 長期前払消費税償却 | 14,670,000 | 0.3% | 14,762,690 | 0.4% | 92,690 | 100.6% |
| 患者外給食材料費 | 1,024,000 | 0.0% | 1,070,827 | 0.0% | 46,827 | 104.6% |
| 医業外雑損失 | 1,050,000 | 0.0% | 1,000,000 | 0.0% | 50,000 | 95.2% |
| 消費税 | 7,043,000 | 0.2% | 8,505,600 | 0.2% | 1,462,600 | 120.8% |
| (3) 特 別 損 失 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | |
| その他特別損失 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | |

備考 1. 予算額及び決算額には消費税が含まれている。

(2) 資本的収支

資本的収支の執行状況は、第4表のとおりである。

当年度の資本的収入の決算額は 473,181,000 円である。これに対し、資本的支出の決算額は 619,804,989 円となっている。

資本的収入

資本的収入は予算額 494,231,000 円に対して決算額 473,181,000 円で、執行率は 95.7%である。

企業債の決算額は 261,100,000 円で資本的収入の 55.2%を占めており、医療機器整備事業に 139,500,000 円及び建設改良事業に 121,600,000 円充当されている。

他会計出資金の決算額は 189,224,000 円で公営企業法に基づく一般会計からの繰入金である。

補助金の決算額 21,957,000 円は修学資金補助及びふるさと寄付金を活用した機器整備に係る補助である。

長期貸付金返済 900,000 円は、修学資金の返済金である。

資本的支出

資本的支出は予算額 640,864,000 円に対して決算額 619,804,989 円で、執行率は 96.7%である。

建設改良費の決算額は 266,070,120 円で、内訳は診療機能の充実を図るための機器整備として分娩監視装置、泌尿器科と放射線科のデジタルX線透視診断装置等の購入費 144,485,520 円及び院内改修工事等に係る設計監理業務委託 1,890,000 円と工事請負費 119,694,600 円である。

企業債償還金の決算額は 328,389,219 円で、資本的支出の 53.0%を占めている。内訳は器械備品購入債 178,215,389 円、病院建設事業債 136,555,326 円、病院事業用地債 6,740,316 円、借換債 6,878,188 円となっている。

第4表 資本的収支の執行状況

(単位：円・%)

| 区 分 | 予 算 額 | | 決 算 額 | | 予算額に対する決算額 の増減または不用額 | 執行率 |
|--------------------|--------------------|---------------|--------------------|---------------|-------------------------|--------------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | | |
| 1 資 本 的 収 入 | 494,231,000 | 100.0% | 473,181,000 | 100.0% | 21,050,000 | 95.7% |
| (1) 企 業 債 | 281,400,000 | 56.9% | 261,100,000 | 55.2% | 20,300,000 | 92.8% |
| 企 業 債 | 281,400,000 | 56.9% | 261,100,000 | 55.2% | 20,300,000 | 92.8% |
| (2) 他 会 計 出 資 金 | 189,224,000 | 38.3% | 189,224,000 | 40.0% | 0 | 100.0% |
| 他 会 計 出 資 金 | 189,224,000 | 38.3% | 189,224,000 | 40.0% | 0 | 100.0% |
| (3) 補 助 金 | 22,707,000 | 4.6% | 21,957,000 | 4.6% | 750,000 | 96.7% |
| 補 助 金 | 22,707,000 | 4.6% | 21,957,000 | 4.6% | 750,000 | 96.7% |
| (4) 長 期 貸 付 金 返 済 | 900,000 | 0.2% | 900,000 | 0.2% | 0 | 100.0% |
| 長 期 貸 付 金 返 済 | 900,000 | 0.2% | 900,000 | 0.2% | 0 | 100.0% |
| 1 資 本 的 支 出 | 640,864,000 | 100.0% | 619,804,989 | 100.0% | 21,059,011 | 96.7% |
| (1) 建 設 改 良 費 | 287,128,000 | 44.8% | 266,070,120 | 42.9% | 21,057,880 | 92.7% |
| 資 産 購 入 費 | 145,684,000 | 22.7% | 144,485,520 | 23.3% | 1,198,480 | 99.2% |
| 病 院 改 良 工 事 費 | 141,444,000 | 22.1% | 121,584,600 | 19.6% | 19,859,400 | 86.0% |
| (2) 企 業 債 償 還 金 | 328,390,000 | 51.2% | 328,389,219 | 53.0% | 781 | 100.0% |
| 企 業 債 償 還 金 | 328,390,000 | 51.2% | 328,389,219 | 53.0% | 781 | 100.0% |
| (3) 長 期 貸 付 金 | 25,346,000 | 4.0% | 25,345,650 | 4.1% | 350 | 100.0% |
| 長 期 貸 付 金 | 25,346,000 | 4.0% | 25,345,650 | 4.1% | 350 | 100.0% |

備考 1. 予算額及び決算額には消費税が含まれている。

3 経営成績

(1) 損益状況

損益状況の前年度比較は、第5表のとおりである。

当年度は、収益 3,718,821,249 円に対し、費用 3,897,139,440 円で、差引 178,318,191 円の経常損失となっている。当該年度純損失 178,318,191 円に、前年度繰越欠損金 4,474,615,480 円を加えた当該年度未処理欠損金は 4,652,933,671 円となっている。

前年度と比べると、収益は 211,912,975 円(6.0%)、費用は 10,251,849 円(0.3%)増加し、差引経常損失は前年度よりも 306,074,126 円減少している。

医業収支比率は 89.9%で前年度より 3.2 ポイント上昇、経常収支比率 95.4%で前年度より 5.2 ポイント上昇している。

第5表 損益状況の比較

(単位 : 円・%)

| 区 分 | 平成27年度 | | 平成26年度 | | 対前年度増減 | |
|-----------------------------------|----------------------|---------------|----------------------|---------------|--------------------|------------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 率 |
| 収 益 | 3,718,821,249 | 100.0% | 3,506,908,274 | 100.0% | 211,912,975 | 6.0 |
| 医 業 収 益 | 3,362,348,850 | 90.4% | 3,232,647,492 | 92.2% | 129,701,358 | 4.0 |
| 入 院 収 益 | 2,063,147,143 | 55.5% | 1,957,134,008 | 55.8% | 106,013,135 | 5.4 |
| 外 来 収 益 | 1,075,593,915 | 28.9% | 1,065,450,499 | 30.4% | 10,143,416 | 1.0 |
| そ の 他 医 業 収 益 | 223,607,792 | 6.0% | 210,062,985 | 6.0% | 13,544,807 | 6.4 |
| 医 業 外 収 益 | 356,472,399 | 9.6% | 274,260,782 | 7.8% | 82,211,617 | 30.0 |
| 受 取 利 息 ・ 配 当 金 | 9,557 | 0.0% | 12,692 | 0.0% | 3,135 | 24.7 |
| 他 会 計 補 助 金 | 323,378,000 | 8.7% | 240,754,000 | 6.9% | 82,624,000 | 34.3 |
| 補 助 金 (県) | 3,692,000 | 0.1% | 3,816,000 | 0.1% | 124,000 | - |
| 患 者 外 給 食 収 益 | 1,177,870 | 0.0% | 1,080,734 | 0.0% | 97,136 | 9.0 |
| 長 期 前 受 金 戻 入 | 5,579,068 | 0.2% | 10,076,525 | 0.3% | 4,497,457 | |
| そ の 他 医 業 外 収 益 | 22,635,904 | 0.6% | 18,520,831 | 0.5% | 4,115,073 | 22.2 |
| 費 用 | 3,897,139,440 | 100.0% | 3,886,887,591 | 99.7% | 10,251,849 | 0.3 |
| 医 業 費 用 | 3,739,318,249 | 96.0% | 3,727,398,167 | 95.6% | 11,920,082 | 0.3 |
| 給 与 費 | 2,357,244,635 | 60.5% | 2,315,250,373 | 59.4% | 41,994,262 | 1.8 |
| 材 料 費 | 646,288,851 | 16.6% | 597,565,537 | 15.3% | 48,723,314 | 8.2 |
| 経 費 | 467,658,150 | 12.0% | 485,313,011 | 12.5% | 17,654,861 | 3.6 |
| 減 価 償 却 費 | 255,224,469 | 6.5% | 314,151,396 | 8.1% | 58,926,927 | 18.8 |
| 資 産 減 耗 費 | 3,614,774 | 0.1% | 5,587,504 | 0.1% | 1,972,730 | 35.3 |
| 研 究 研 修 費 | 9,287,370 | 0.2% | 9,530,346 | 0.2% | 242,976 | 2.5 |
| 医 業 外 費 用 | 157,821,191 | 4.0% | 159,489,424 | 4.1% | 1,668,233 | 1.0 |
| 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費 | 55,941,241 | 1.4% | 59,040,596 | 1.5% | 3,099,355 | 5.2 |
| 長 期 前 払 消 費 税 償 却 | 14,762,690 | 0.4% | 14,985,443 | 0.4% | 222,753 | 1.5 |
| 患 者 外 給 食 材 料 費 | 991,533 | 0.0% | 965,682 | 0.0% | 25,851 | 2.7 |
| 医 業 外 雑 損 失 | 1,000,000 | 0.0% | 1,000,000 | 0.0% | 0 | - |
| 消 費 税 | 85,125,727 | 2.2% | 83,497,703 | 2.1% | 1,628,024 | 1.9 |
| 経 常 利 益 | 178,318,191 | | 379,979,317 | | 201,661,126 | |
| 特 別 損 失 | 0 | 0.0% | 104,413,000 | 2.7% | 104,413,000 | |
| そ の 他 特 別 損 失 | | 0.0% | 104,413,000 | 2.7% | 104,413,000 | |
| 当 該 年 度 純 損 失 | 178,318,191 | | 484,392,317 | -12.4% | 306,074,126 | |
| そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額 | | | 200,000 | | 200,000 | |
| 前 年 度 繰 越 欠 損 金 | 4,474,615,480 | | 3,990,423,163 | | 484,192,317 | |
| 当 年 度 未 処 分 欠 損 金 | 4,652,933,671 | | 4,474,615,480 | | 178,318,191 | |
| 医 業 損 益 (医 業 収 益 - 医 業 費 用) | 376,969,399 | | 494,750,675 | | 117,781,276 | |
| 医 業 収 支 比 率 (医 業 収 益 / 医 業 費 用) | 89.9% | | 86.7% | | 3.2% | |
| 経 常 収 支 比 率 (収 益 / 費 用) | 95.4% | | 90.2% | | 5.2% | |

(2) 収 益

医業収益

医業収益は、前年度に比べ入院患者数は増加、外来患者数は減少し、結果収益は 129,701,358 円(4.0%)前年度より増加している。

入院収益は 2,063,147,143 円で、収益の 55.5%を占めており、患者数が増えたため、前年度に比べ 106,013,135 円(5.4%)増加している。

外来収益は 1,075,593,915 円で、収益の 28.9%を占めており、患者数は減少したものの、一人あたり医療費の増加により、前年度に比べ 10,143,416 円(1.0%)増加している。

その他医療収益については、223,607,792 円で、前年度より 13,544,807 円(6.4%)増加している。内訳としては、他会計負担金(救急に要する経費)等が増加している。

医業外収益

医業外収益は 356,472,399 円で、主に他会計補助金の増加により、前年度に比べ 82,211,617 円(30.0%)増加している。

他会計補助金は公営企業法に基づく一般会計からの繰入金 323,378,000 円で、前年度に比べ 82,624,000 円(34.3%)増加している。これは、繰出基準に基づき繰入している。

(3) 費 用

医業費用

医業費用は 3,739,318,249 円で、前年度に比べ 11,920,082 円(0.3%)増加している。

給与費は 2,357,244,635 円で、医師及び職員の給料等であり、費用の 60.5%を占めており前年度に比べ 41,994,262 円(1.8%)増加している。

材料費は 646,288,851 円で、費用の 16.6%を占めており、前年度に比べ 48,723,314(8.2%)増加している。

経費は 467,658,150 円で、費用の 12.0%を占めており、前年度に比べ 17,654,861 円(3.6%)減少している。

減価償却費は 255,224,469 円で、費用の 6.5%を占めており、前年度に比べ 58,926,927 円(18.8%)減少している。

資産減耗費は 3,614,774 円、研究研修費は 9,287,370 円で、それぞれ前年度より減少している。

医業外費用

医業外費用は 157,821,191 円で、主に支払利息及び企業債取扱諸費の減少により、前年度に比べ 1,668,233 円(1.0%)減少となっている。

特別損失

昨年度は会計制度の改正により、前会計年度に計上していなかった期間に係る賞与引当金を特別損失として計上したが、平成 27 年度は該当なし。

(4) 医業収益と医業費用

医業収益 3,362,348,850 円に対し、医業費用は 3,739,318,249 円で、医業収支は

376,969,399 円となり、前年度に比べ医業損益は 117,781,276 円の増となっている。

患者 1 人当たりの医業収益と医業費用の前年度比較は、第 6 表のとおりである。

患者 1 人 1 日当たりの医業収益は 22,737 円で、入院で 546 円増、外来で 307 円増となり、全体では前年度に比べ 725 円（3.3%）増加している。

患者 1 人 1 日当たりの医業費用は 25,286 円で、前年度に比べ 95 円（0.4%）減少している。

患者 1 人 1 日当たりの医業収支は 2,549 円の赤字であり、前年度に比べ赤字額が 820 円減少となっている。

第6表 患者 1 人当たりの医業収益と医業費用

（単位：円・人・%）

| 区 分 | 平成27年度 | | | 平成26年度 | | | 対前年度増減 | | |
|----------------------|----------------------|----------------|-------------------------------|----------------------|----------------|-------------------------------|--------------------|--------------|-------------------------------|
| | 金 額 | 延患者数 | 患者 1 人 1 日当 たりの収益また は費用 | 金 額 | 延患者数 | 患者 1 人 1 日当 たりの収益また は費用 | 金 額 | 延患者数 | 患者 1 人 1 日当 たりの収益また は費用 |
| 入 院 収 益 | 2,173,641,887 | 51,756 | 41,998 | 2,061,358,864 | 49,729 | 41,452 | 112,283,023 | 2,027 | 546 |
| 外 来 収 益 | 1,188,706,963 | 96,124 | 12,366 | 1,171,288,628 | 97,128 | 12,059 | 17,418,335 | 1,004 | 307 |
| 医 業 収 益 計 | 3,362,348,850 | 147,880 | 22,737 | 3,232,647,492 | 146,857 | 22,012 | 129,701,358 | 1,023 | 725 |
| 給 与 費 | 2,357,244,635 | | 15,940 | 2,315,250,373 | | 15,765 | 41,994,262 | | 175 |
| 材 料 費 | 646,288,851 | | 4,370 | 597,565,537 | | 4,069 | 48,723,314 | | 301 |
| 経 費 | 467,658,150 | | 3,162 | 485,313,011 | | 3,305 | 17,654,861 | | 143 |
| 減 価 償 却 費 | 255,224,469 | | 1,726 | 314,151,396 | | 2,139 | 58,926,927 | | 413 |
| 資 産 減 耗 費 | 3,614,774 | | 24 | 5,587,504 | | 38 | 1,972,730 | | 14 |
| 研 究 研 修 費 | 9,287,370 | | 63 | 9,530,346 | | 65 | 242,976 | | 2 |
| 医 業 費 用 計 | 3,739,318,249 | 147,880 | 25,286 | 3,727,398,167 | 146,857 | 25,381 | 11,920,082 | 1,023 | 95 |
| - | 376,969,399 | | 2,549 | 494,750,675 | | 3,369 | 117,781,276 | | 820 |
| 医業収益対医業費用比率 (/) | 89.9% | | | 86.7% | | | 3.2% | | |

- 備考 1. 患者 1 人当たりの収益または費用については、収益・費用を延患者数で除している。ただし、費用については入院と外来を区分することが困難なため延患者数の合計で除している。
2. 入院患者数には人間ドック件数を、外来患者数には 1 日ドック・脳ドックの人数を加算している。
3. その他医業収益の内、室料差額収益については入院収益に、他会計負担金については外来収益に加算し、それ以外については入院と外来の収益比により案分している。

4 財政状況

貸借対照表の前年度比較は、第7表のとおりである。

(1) 資産

資産総額は4,475,878,942円で、前年度末に比べ47,447,411円(1.1%)増加している。

固定資産

固定資産は3,712,531,463円で、前年度末に比べ16,356,590円(0.4%)増加している。

(ア) 有形固定資産

有形固定資産は3,586,087,323円で、前年度末に比べ10,504,910円(0.3%)減少している。

土地については、638,255,744円で、前年度末と同額となっている。

建物は2,323,519,186円で、院内改修工事の完了に伴い、前年度末に比べ58,117,421円(2.6%)増加している。

構築物は9,206,042円で、減価償却により、504,900円(5.2%)減少している。

器械備品は614,851,613円で、前年度末に比べ27,990,764円(4.4%)減少している。新規購入・更新により133,802,000円増加しているが、資産の更新により72,295,479円が減少し、また、減価償却により89,497,285円減少している。

車両は254,738円で、前年度と増減はない。

(イ) 無形固定資産

無形固定資産は742,000円で、ソフトウェアの減価償却により前年度末に比べ1,954,000円(72.5%)減少している。

流動資産

流動資産は763,347,479円で、前年度末に比べ31,090,821円(4.2%)増加している。貯蔵品が1,886,311円(5.4%)減少したが、現金預金が27,720,108円(15.0%)、未収金が5,257,476円(1.0%)増加したためである。なお、貸倒引当金は計上されていない。

繰延資産勘定

繰延資産勘定については、会計制度の改正により廃止されている。

(2) 負債

固定負債

会計制度の改正により、26年度より償還期限が翌々年度以降に到達する企業債2,663,721,218円を固定負債として計上している。

流動負債

流動負債については、総額は1,250,610,494円で、前年度末に比べ85,176,312円(7.3%)

増加している。

一時借入金が 100,000,000 円、預かり金が 740,828 円、賞与引当金が 5,110,000 円が増加し、1 年以内に償還期限の到達する企業債が 2,276,577 円、未払金が 15,309,939 円、未払消費税が 3,088,000 円減少している。

繰延収益

繰延収益については、奨学金繰入 17,023,000 円及びふるさと寄付金活用事業に係る市補助金 4,934,000 円を計上している。なお、収益化累計額には、建物、器機のみなし償却廃止に伴う補助金等の償却相当額を計上している。

(3) 資 本

資本総額は 443,730,656 円で、前年度末に比べ 10,905,809 円 (2.5%) 増加している。

資本金

資本金は 5,075,907,327 円で、前年度末に比べ 189,224,000 円 (3.9%) 増加している。

剰余金

剰余金については、4,632,176,671 円で、前年度末に比べ 178,318,191 円 (4.0%) 減少している。

資本剰余金のうち、受贈財産評価額及び国庫補助金はありませんでした。その他補助金は、20,757,000 円で前年度と増減はない。

欠損金は、当該年度純損失 178,318,191 円と前年度繰越欠損金 4,474,615,480 円を合わせた 4,652,933,671 円となっている。

第7表 貸借対照表の比較

(単位：円・%)

| 区 分 | 平成27年度末 | | 平成26年度末 | | 対前年度増減 | |
|-----------------------------|----------------------|---------------|----------------------|---------------|-------------------|------------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 率 |
| 資 産 | 4,475,878,942 | 100.0% | 4,428,431,531 | 100.0% | 47,447,411 | 1.1 |
| 1 固 定 資 産 | 3,712,531,463 | 82.9% | 3,696,174,873 | 83.5% | 16,356,590 | 0.4 |
| (1) 有 形 固 定 資 産 | 3,586,087,323 | 80.1% | 3,596,592,233 | 81.2% | 10,504,910 | 0.3 |
| 土 地 | 638,255,744 | 14.3% | 638,255,744 | 14.3% | 0 | 0.0 |
| 建 物 | 2,323,519,186 | 51.9% | 2,265,401,765 | 50.6% | 58,117,421 | 2.6 |
| 構 築 物 | 9,206,042 | 0.2% | 9,710,942 | 0.2% | 504,900 | 5.2 |
| 器 械 備 品 | 614,851,613 | 13.7% | 642,842,377 | 14.4% | 27,990,764 | 4.4 |
| 車 両 | 254,738 | 0.0% | 254,738 | 0.0% | 0 | 0.0 |
| 建 設 仮 勘 定 | 0 | 0.0% | 40,126,667 | 0.9% | 40,126,667 | |
| (2) 無 形 固 定 資 産 | 742,000 | 0.0% | 2,696,000 | 0.1% | 1,954,000 | 72.5 |
| 電 話 加 入 権 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | |
| ソ フ ト ウ エ ア | 742,000 | 0.0% | 2,696,000 | 0.1% | 1,954,000 | 72.5 |
| (3) 投 資 | 125,702,140 | 2.8% | 96,886,640 | 2.2% | 28,815,500 | 29.7 |
| 長 期 貸 付 金 | 62,371,425 | 1.4% | 37,925,775 | 0.8% | 24,445,650 | 64.5 |
| 長 期 前 払 消 費 税 | 63,330,715 | 1.4% | 58,960,865 | 1.3% | 4,369,850 | |
| 2 流 動 資 産 | 763,347,479 | 17.1% | 732,256,658 | 16.4% | 31,090,821 | 4.2 |
| (1) 現 金 預 金 | 213,103,041 | 4.8% | 185,382,933 | 4.1% | 27,720,108 | 15.0 |
| (2) 未 収 金 | 516,802,269 | 11.5% | 511,544,793 | 11.4% | 5,257,476 | 1.0 |
| (3) 貸 倒 引 当 金 | 0 | 0.0% | 0 | | | |
| (4) 貯 蔵 品 | 33,334,158 | 0.7% | 35,220,469 | 0.8% | 1,886,311 | 5.4 |
| (5) 立 替 金 | 108,011 | 0.0% | 108,463 | 0.0% | 452 | 0.4 |
| 3 繰 延 資 産 勘 定 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | |
| (1) 控 除 対 象 外 消 費 税 額 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | |
| 負 債 及 び 資 本 | 4,475,878,942 | 100.0% | 4,428,431,531 | 100.0% | 47,447,411 | 1.1 |
| 負 債 | 4,032,148,286 | 90.1% | 3,995,606,684 | 89.3% | 36,541,602 | 0.9 |
| 4 固 定 負 債 | 2,663,721,218 | 59.5% | 2,728,733,860 | 61.0% | 65,012,642 | |
| (1) 企 業 債 | 2,663,721,218 | 59.5% | 2,728,733,860 | 61.0% | 65,012,642 | |
| (2) 他 会 計 借 入 金 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | |
| (3) そ の 他 固 定 負 債 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | |
| 5 流 動 負 債 | 1,250,610,494 | 27.9% | 1,165,434,182 | 26.0% | 85,176,312 | 7.3 |
| (1) 一 時 借 入 金 | 500,000,000 | 11.2% | 400,000,000 | 8.9% | 100,000,000 | 25.0 |
| (2) 企 業 債 | 326,112,642 | 7.3% | 328,389,219 | 7.3% | 2,276,577 | |
| (3) 他 会 計 借 入 金 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | |
| (4) 未 払 金 | 287,039,947 | 6.4% | 302,349,886 | 6.8% | 15,309,939 | 5.1 |
| (5) 未 払 消 費 税 | 2,529,300 | 0.1% | 5,617,300 | 0.1% | 3,088,000 | 55.0 |
| (6) 預 り 金 | 15,424,605 | 0.3% | 14,683,777 | 0.3% | 740,828 | 5.0 |
| (7) 賞 与 引 当 金 | 119,504,000 | 2.7% | 114,394,000 | 2.6% | 5,110,000 | |
| (8) そ の 他 流 動 負 債 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | |
| 6 繰 延 収 益 | 117,816,574 | 2.6% | 101,438,642 | 2.3% | 16,377,932 | |
| (1) 長 期 前 受 金 | 178,743,000 | 4.0% | 156,786,000 | 3.5% | 21,957,000 | |
| 収 益 化 累 計 額 | 60,926,426 | | 55,347,358 | | 5,579,068 | |
| 資 本 | 443,730,656 | 9.9% | 432,824,847 | 9.7% | 10,905,809 | 2.5 |
| 7 資 本 金 | 5,075,907,327 | 113.4% | 4,886,683,327 | 109.2% | 189,224,000 | 3.9 |
| (1) 自 己 資 本 金 | 5,075,907,327 | 113.4% | 4,886,683,327 | 109.2% | 189,224,000 | 3.9 |
| (2) 借 入 資 本 金 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | |
| 企 業 債 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | |
| 借 換 債 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | |
| 8 剰 余 金 | 4,632,176,671 | 103.5% | 4,453,858,480 | 99.5% | 178,318,191 | 4.0 |
| (1) 資 本 剰 余 金 | 20,757,000 | 0.5% | 20,757,000 | 0.5% | 0 | 0.0 |
| 受 贈 財 産 評 価 額 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | - |
| 国 庫 補 助 金 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | |
| そ の 他 補 助 金 | 20,757,000 | 0.5% | 20,757,000 | 0.5% | 0 | 0.0 |
| (2) 欠 損 金 | 4,652,933,671 | 104.0% | 4,474,615,480 | 100.0% | 178,318,191 | 4.0 |
| そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額 | 0 | 0.0 | 200,000 | 0.0 | 200,000 | |
| 当 該 年 度 未 処 理 欠 損 | 4,652,933,671 | | 4,474,815,480 | 100.0% | 178,118,191 | 4.0 |
| (内 当 該 年 度 純 損 失) | (178,318,191) | - | (484,392,317) | - | (306,074,126) | - |

備考 1.有形固定資産の減価償却累計額は5,042,364,686円である。

5 キャッシュ・フロー計算書

昨年度より義務付けられたキャッシュ・フロー計算書では、事業活動によって実際に得られた収入から外部への支出を差し引いて手元に残る資金の流れを表している。

予算では資金期末残高 191,028,000 円に対して、決算額では 213,103,041 円となっている。

資金期首残高 185,382,933 円より、平成 27 年度の資金増加額 27,720,108 円(業務活動によるキャッシュ・フロー30,208,660 円、投資活動によるキャッシュ・フロー 224,423,333 円、財務活動によるキャッシュ・フロー221,934,781 円)を加えた結果、資金期末残高は 213,103,041 円となっている。

平成27年度 宍粟市病院事業キャッシュ・フロー計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日まで)

(単位:円)

| | 予定額 | 決算額 | 予定額との差額 |
|---------------------|-------------|---------------|-------------|
| 1. 業務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 当年度純利益 | 280,813,000 | 178,318,191 | 102,494,809 |
| 減価償却費 | 267,963,000 | 255,224,469 | 12,738,531 |
| 減損損失 | 0 | 0 | 0 |
| 貸倒引当金の増加額 | 19,000 | 0 | 19,000 |
| 賞与引当金の増加額 | 5,110,000 | 5,110,000 | 0 |
| 長期前受金戻入額 | 5,579,000 | 5,579,068 | 68 |
| 受取利息及び受取配当金 | 12,000 | 9,557 | 2,443 |
| 支払利息 | 57,405,000 | 55,941,241 | 1,463,759 |
| 固定資産除却損 | 8,982,000 | 20,830,876 | 29,812,876 |
| 未収金の減少額 | 20,470,000 | 5,257,476 | 15,212,524 |
| 未払金の増加額 | 42,476,000 | 18,397,939 | 60,873,939 |
| たな卸資産の増加額 | 0 | 0 | 0 |
| 預り金の増加額 | 0 | 0 | 0 |
| 前払金の増加額 | 3,464,000 | 1,742,259 | 1,721,741 |
| 小 計 | 71,617,000 | 86,140,344 | 14,523,344 |
| 利息及び配当金の受取額 | 12,000 | 9,557 | 2,443 |
| 利息の支払額 | 57,405,000 | 55,941,241 | 1,463,759 |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | 14,224,000 | 30,208,660 | 15,984,660 |
| 2. 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 244,821,000 | 246,380,333 | 1,559,333 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 0 | 0 | 0 |
| 有価証券の取得による支出 | 0 | 0 | 0 |
| 有価証券の売却による収入 | 0 | 0 | 0 |
| 国庫補助金等による収入 | 0 | 0 | 0 |
| 一般会計からの繰入金による収入 | 21,334,000 | 21,957,000 | 623,000 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 223,487,000 | 224,423,333 | 936,333 |
| 3. 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 短期借入金の借入による収入 | 700,000,000 | 1,200,000,000 | 500,000,000 |
| 短期借入金の返済による収入 | 600,000,000 | 1,100,000,000 | 500,000,000 |
| 建設改良企業債による収入 | 239,100,000 | 261,100,000 | 22,000,000 |
| 建設改良企業債の償還による支出 | 328,390,000 | 328,389,219 | 781 |
| 他会計からの出資による収入 | 189,224,000 | 189,224,000 | 0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 199,934,000 | 221,934,781 | 22,000,781 |
| 4. 資金増加(減少)額 | 9,329,000 | 27,720,108 | 37,049,108 |
| 5. 資金期首残高 | 200,357,000 | 185,382,933 | 14,974,067 |
| 6. 資金期末残高 | 191,028,000 | 213,103,041 | 22,075,041 |

未収金額の状況(平成28年3月31日現在)

| 未収金の収納金額(合計) | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------------|------------|
| | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 計 |
| 26年度決算 | 107,350 | 138,140 | 146,700 | 172,070 | 742,250 | 750,650 | 1,761,360 | 634,960 | 873,000 | 168,680 | 422,660 | 300,470 | 474,640 | 934,720 | 14,332,609 | 21,960,259 |
| 27年 4月 | | | | | 10,000 | 1,000 | 3,000 | | 5,000 | 1,000 | 15,330 | | 10,000 | 30,000 | 12,429,664 | 12,504,994 |
| 27年 5月 | | | | | | 1,000 | 6,000 | | 5,000 | 2,000 | 52,000 | | 7,000 | 30,000 | 872,330 | 975,330 |
| 27年 6月 | | | | | | 1,000 | | | 5,000 | 1,000 | 2,000 | | | 1,000 | 334,035 | 344,035 |
| 27年 7月 | | | | | 10,000 | | 3,000 | | 20,000 | | 2,000 | | 2,000 | | 2,720 | 39,720 |
| 27年 8月 | 10,000 | | | | | 1,000 | 3,000 | | 15,000 | 1,000 | 2,000 | 43,020 | | | 93,040 | 168,060 |
| 27年 9月 | | | | | | 3,000 | | | 30,000 | 1,000 | 2,000 | 25,890 | 5,000 | 100,000 | 55,710 | 222,600 |
| 27年 10月 | | | | | | 4,300 | | | 20,140 | 1,000 | 2,000 | | | 115,480 | 80,560 | 223,480 |
| 27年 11月 | | | | | | | | | 5,000 | | 2,000 | | | | | 7,000 |
| 27年 12月 | | | | | | 1,000 | | | 15,000 | 1,000 | | | | | | 17,000 |
| 28年 1月 | 5,000 | | | | | | | | 5,000 | | | | 1,000 | | | 11,000 |
| 28年 2月 | | | | | | 3,000 | | | 10,000 | 1,000 | | | 14,000 | 10,000 | | 38,000 |
| 28年 3月 | | | | | | 1,000 | | | 5,000 | 1,000 | | | 8,000 | 10,000 | 14,460 | 39,460 |
| 27年度収納金額 | 15,000 | 0 | 0 | 0 | 20,000 | 9,000 | 22,300 | 0 | 140,140 | 10,000 | 79,330 | 69,910 | 46,000 | 296,480 | 13,882,519 | 14,590,679 |
| 不納欠損処理 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 28年3月末現在 | 92,350 | 138,140 | 146,700 | 172,070 | 722,250 | 741,650 | 1,739,060 | 634,960 | 732,860 | 158,680 | 343,330 | 230,560 | 428,640 | 638,240 | 450,090 | 7,369,580 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 13,315,937 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 20,685,517 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 未収金の収納件数(合計) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 計 |
| 26年度決算 | 3 | 3 | 1 | 4 | 5 | 6 | 6 | 10 | 41 | 33 | 9 | 27 | 16 | 38 | 509 | 711 |
| 27年 4月 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 1 | 1 | 412 | 416 |
| 27年 5月 | | | | | | | | | | | | | | 2 | 32 | 34 |
| 27年 6月 | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 16 |
| 27年 7月 | | | | | | | | | | | | | 1 | | 2 | 3 |
| 27年 8月 | | | | | | | | | | | | 4 | | | 12 | 16 |
| 27年 9月 | | | | | | | | | | | 2 | | | 6 | 1 | 9 |
| 27年 10月 | | | | | | | 1 | | | | | | | 5 | 10 | 16 |
| 27年 11月 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 27年 12月 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 28年 1月 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 28年 2月 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 28年 3月 | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | 2 |
| 27年度完納件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 6 | 3 | 14 | 486 | 512 |
| 不納欠損処理 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 28年3月末現在 | 3 | 3 | 1 | 4 | 5 | 6 | 5 | 10 | 41 | 32 | 8 | 21 | 13 | 24 | 23 | 199 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 428 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 627 |

6 まとめ

決算の概要は前述のとおりである。

平成27年度の患者数の状況は、入院51,689人(対前年2,023人増)、外来96,030人(対前年978人減)、合計147,719人(対前年1,045人増:0.7%増)となっており、入院患者は増加したものの、外来患者は減少となった。病床利用率については、昨年より2.5%増の68.9%となっている。特に昨年度からの病床利用率の伸びは院長を中心にコスト意識を持って取り組まれた結果であると思われる。

昨年度より院内託児所の運用が開始され、現在21名の看護師が利用している。また、平成26年10月より開始した民間賃貸住宅を活用した看護師寮制度も利用者は着実に増えてきており、引き続き医師、看護師が安心して働ける環境づくりに取り組み、新たな医師、看護師の確保を図る必要がある。

設備面では、医局の充実、がん化学療法室の新設、病棟トイレのバリアフリー化などサービスの向上と病院機器の充実を図るため院内改修工事が完了した。また、機器整備では、分娩監視装置を始め老朽化した機器の更新が行われた、今後も地域の医療ニーズを的確に把握し、最新機器の購入も検討する必要がある。

経営状況については、病院事業収益は3,718,821千円で前年度と比較して211,913千円(6.0%)

増加した。内訳としては医業収益が 3,362,349 千円で前年度よりも 129,701 千円(4.0%)増収、営業外収益においても 356,472 千円で前年度より 82,212 千円(30.0%)の増加となっている。これは、当地域でニーズの高い整形外科の患者増によるところが大きい。今後も引き続き常勤医師が不在、不足する診療科について常勤医師の確保を目指す。

また、病院事業費用は、3,897,139 千円で前年度と比較して 10,252 千円(0.3%)増加し、医業費用においても、11,920 千円(0.3%)増加している。尚、会計制度改正の伴い昨年度計上した特別損失 104,413 千円が皆減した。

その結果、経常損失が 178,318 千円となり、当該年度純損失は 178,318 千円と昨年度より 306,074 千円の減額となった。

キャッシュ・フロー計算書でも期首残高 185,383 千円が期末残高 213,103 千円と単年度で 27,720 千円増加する結果となっている。

病院の健全経営のためには、病床利用率の増加を図る必要がある。慢性的に病床利用率が 70%未満の公立病院については、病床数等の抜本的な見直しや経営の効率化を図る必要があると言われていきます。黒字経営を目指すためには将来的に 80%以上、当面、75%を目標として見直し、新公立病院改革プランの策定により取り組みを進められたい。

公立病院には、公平・公正な医療を提供し、住民の健康維持、増進を図り、地域の発展に貢献するという使命があり、地域に必要な医療のうち、採算性等の面から民間医療機関による提供が困難な医療を提供することが求められます。その上で地域医療の確保、医療水準の向上、患者中心の医療体制、安全管理の徹底、健全経営を確保することにより、持続可能な経営を目指す必要が求められます。

器機の購入については、複数からの見積徴収に心がけ、安易に随意契約を行うことのないようコスト意識を持って事務処理をされたい。

資金残高対事業収支比率(資金の余裕度)を確認してみると、5.71%と資金としては底を尽きた状況といえる。また、施設更新率(施設の老朽化への対策)についても 3.07%と低水準にあるといえる。今後の施設の老朽化対策や今後の国の医療改革を見据えた地方公営企業経営戦略の策定など中長期的なビジョンを持つことが重要と考える。

未収金(第 8 表 医業未収金(窓口分)の状況参照)については、特別徴収期間の設定による対応や分納誓約を取るなど辛抱強く徴収業務に取り組まれているところではありますが、長期化した未収金については地道な徴収業務を行うとともに、事務局だけでなく市全体が共有の問題として捉え、徴収業務に当たられたい。

参考資料(平成27年度経営分析表) 公営企業の経営戦略の策定支援と活用等に関する研究会(病院)

| 項目 | 数値 | 算式 | 方法 | 指標の意味 | 分析の考え方 |
|--------------------------------|--------|--|----|---|--|
| 経営・財政面での指標 | | | | | |
| 経常収支比率 (経営の健全性) | 95.45% | 経常収益額 / 経常費用額 3,731,213,559 / 3,908,974,503 | | 当年度において、料収入・一般会計繰入金等の収益で、経常的な費用がどの程度賄われているかを表したものの、赤字・黒字、経営の効率性等を表すもので、民間企業では経営の健全性等の指標の基本となる。 | 独立採算を原則とする公営企業においては100%以上となっていることが望ましく、それを基準として経営の健全性・効率性等を評価することが妥当と考えられる。 |
| 資金残高対事業収支比率 (資金の余裕度) | 5.71% | (現金・預金残高 + 有価証券等の額) / 経常収益額 (213,103,041 + 0) / 3,731,213,559 | | 当該年度における収益規模(事業規模)に対する資金余力を表したものであり、日常の資金繰りの余力を表す。 | 経営環境が類似した公営企業の一般的な水準と比較して過小な場合や、施設・設備の老朽化が進んでいるにも関わらず低水準な場合には、経営の現在・将来の安定性に課題を有する可能性がある。(資金不足(比率)を生じる前のシグナルと考ええる見方もある。) |
| 債務の状況 | | | | | |
| 企業債元利償還金対料収入比率 (債務の重さ) | 11.32% | 企業債元利償還金の額 / 料収入額 (利子)53,471,452 + 元金328,389,219 / 3,72,837,985 | | 当該年度における企業の債務負担の状況や投資余力等を判断する指標であり、施設・設備の建設改良のために起債した企業債の元利償還金が、料収入に対してどの程度の規模となっているかを表したものである。 | 経営環境が類似した公営企業の一般的な水準と比較して過度に高い水準にある場合や増加傾向にある場合には、当該企業の持続性・安定性に課題があるものと評価される。一方、低い水準にあるが施設・設備の老朽化が進んでいる場合等には、更新投資のあり方などについて検討を要する可能性がある。 |
| 施設の状況 | | | | | |
| 減価償却累計率 (施設老朽化の度合(会計の観点から)) | 63.24% | 減価償却累計額 / 償却資産の取得価格 (整備当初の簿価) 5,072,350,501 / 8,020,182,080 構築物の取得価額で算出 | | 固定資産(施設・設備)の減価償却がどの程度進んでいるかを表したものである。固定資産の減価償却は、毎年、(取得価額 / 耐用年数)を基本として行われるため、減価償却累計率が高いほど耐用年数に近づいているものと判断される。 | 経営環境が類似した公営企業の水準と比較して高水準にある、急上昇中等の場合は、老朽化が進んでいる状況であり、かつ、経営状況が悪い(経常収支比率や経費回転率が100%を下回っている、資金残高対事業収支比率が低水準にある場合の)場合には、将来の事業継続に向けて抜本的な対策を要する可能性がある。 |
| 投資の効果 | | | | | |
| 更新率 (施設老朽化への対策) | 3.07% | 更新投資の額 / 償却資産の取得価額 (整備当初の簿価) 246,122,333 / 8,020,182,080 | | 固定資産(施設・設備)の整備・取得に要した価額に対して、当該年度にどの程度の更新投資が行われているかを表した指標である。老朽化や経営状況(経常収支比率や資金残高対事業収支比率)を把握するに当たった補助的な指標である。 | 老朽化が進んでいる場合にはこの数値が低水準となっている場合には、必要な更新投資を行うことができていないか等を確認することが望ましい。経営状況が悪い(経常収支比率や経費回転率が100%を下回っている、資金残高対事業収支比率が低水準にある場合の)場合には、将来の事業継続に向けて抜本的な対策を要する可能性がある。 なお、施設・設備が新しい(耐用年数に達していない)場合には、更新投資は行わないことに留意が必要である。 また、更新を単体面から把握するため、補助的な指標として、管路更新率(当該年度に更新した管路延長 / 管路総延長)等を把握することも考えられる。 |

農業共済事業特別会計

1 業務実績

各共済種目の業務量の前年度比較は、第1表のとおりである。

(1) 農作物共済

水稲共済引受は、戸数 2,189 戸(対前年度 9 戸増)、面積 96,742 a(対前年度 145 a減)、引受収量 3,230,800kg(対前年度 18,868kg 増)、共済金額 604,159,600 円(対前年度 9,319,412 円減)と昨年と比べて引受戸数は増加したものの、共済金額は減少している。

被害は、被害戸数 120 戸(対前年度 38 戸減)で、被害面積 1,840 a(対前年度 624 a減)、共済減収量 17,372kg(対前年度 2,905kg 減)、共済金支払額 3,248,564 円(対前年度 624,343 円減)となっている。これは、梅雨時期の日照不足による葉もち病の発生、8月の台風、豪雨による倒伏、気温の低位、日照不足により青米、未熟米が多く混入するなど例年に比べ収量減となった圃場が多く見られた。また、鳥獣被害については、防護柵の効果がある程度現われる一方、新たな圃場での被害が見受けられるようになった。

麦共済の引受は、県農作物改良協会の割当による種子用麦が主な栽培であり、戸数 16 戸(対前年度 2 戸減)で、引受面積 2,850 a(対前年度 72 a増)、引受収量 52,072kg(対前年度 4,081kg 増)、共済金額 10,756,576 円(対前年度 1,413,538 円増)となっている。

被害は、被害面積 114 a(対前年度 46 a増)で、共済減収量 1,171kg(対前年度 1,036kg 増)、共済金支払額 264,646 円(対前年度 235,486 円増)となっている。これは、播種後から 1 月下旬にかけて雨が多かったための発芽不良及び 4 月以降も雨がかったことによる湿害で昨年を上回る被害となった。

また、損害防止事業として、市が実施する野生動物防護柵設置事業補助金にかかる財源として、水稲共済損害防止事業助成金交付要綱に基づく連合会負担金と合わせて 406,000 円助成している。

第1表 業務量の比較

農作物共済

(単位:戸・a・kg・円)

| 共済目的 | 年産 | 引 受 状 況 | | | | | 被 害 状 況 | | | | |
|------|----|---------|--------|-----------|------|-------------|---------|--------|--------|-----------|--|
| | | 戸 数 | 面 積 | 引 受 収 量 | 平均単収 | 共 済 金 額 | 戸 数 | 面 積 | 共済減収量 | 共済金支払額 | |
| 水 稲 | 27 | 2,189 | 96,742 | 3,230,800 | 477 | 604,159,600 | 120 | 1,840 | 17,372 | 3,248,564 | |
| | 26 | 2,180 | 96,887 | 3,211,932 | 474 | 613,479,012 | 158 | 2,464 | 20,277 | 3,872,907 | |
| | 増減 | 9 | 145 | 18,868 | 3 | 9,319,412 | 38 | 624 | 2,905 | 624,343 | |
| | 率 | 0.4% | -0.1% | 0.6% | 0.6% | -1.5% | -24.1% | -25.3% | -14.3% | -16.1% | |
| 麦 | 28 | 16 | 2,850 | 52,072 | 261 | 10,756,576 | | | | | |
| | 27 | 18 | 2,778 | 47,991 | 247 | 9,343,038 | 6 | 114 | 1,171 | 264,646 | |
| | 26 | 21 | 2,849 | 47,796 | 240 | 9,349,716 | 2 | 68 | 135 | 29,160 | |
| | 増減 | 2 | 72 | 4,081 | 14 | 1,413,538 | 4 | 46 | 1,036 | 235,486 | |
| | 率 | -11.1% | 2.6% | 8.5% | 5.7% | 15.1% | 200.0% | 67.6% | 767.4% | 807.6% | |

麦については共済の引受期間が2ヶ年にわたるため、27年度の引受状況に関する数値は28年産麦の数値で、27年度の被害状況の数値は26年度の引受に対するものである。

(2) 家畜共済

乳牛の引受は、農家戸数が3戸(前年度と同数)で、頭数は291頭(対前年度19頭増)、1頭当たり共済金額134,908円(対前年度5,435円増)となっている。

被害は、病傷事故が183件(対前年度80件増)で、共済金支払額が3,839,470円(対前年度1,898,380円増)、死廃事故が36件(対前年度6件増)で、共済金支払額が4,592,332円(対前年度836,900円増)となっている。

肉用牛(肥育)の引受は、農家戸数は8戸(前年度同様)、頭数が873頭(対前年度7頭増)、1頭当たり共済金額が344,374円(対前年度32,580円増)となっている。

被害は、病傷事故が176件(対前年度30件増)で、共済金支払額が3,246,160円(対前年度404,550円増)、死廃事故が16件(対前年度14件減)で、共済金支払額が3,862,528円(対前年度3,153,398円減)となっている。

肉用牛(その他)の引受は、農家戸数は11戸(前年度同様)、頭数が386頭(対前年度62頭減)、1頭当たり共済金額が234,138円(対前年度55,122円増)となっている。

被害は、病傷事故が167件(対前年度7件増)で、共済金支払額が1,742,050円(対前年度295,010円増)、死廃事故が10件(対前年度6件減)で、共済金支払額が2,788,067円(対前年度563,783円増)となっている。

一般馬の引受は、加入資格要件を満たさなくなったため農家戸数0戸(対前年度1件数)で、頭数が0頭(対前年度12頭減)で、該当が無くなりました。

また、特定損害防止事業として農林水産大臣の定める特定疾病の損害予防衛生措置(対象頭数224頭)に対し連合会負担金として400,200円支出している。

第1表 業務量の比較

家畜共済

(単位：戸・頭・円・件)

| 共済目的 | 年度 | 引 受 状 況 | | | | 被 害 状 況 | | | |
|---------------------|----|---------|-------|-------------|--------------------|---------|-------------|---------|-------------|
| | | 戸 数 | 頭 数 | 共 済 金 額 | 1 頭 当 り 共 済 金 額 | 病 傷 事 故 | | 死 廃 事 故 | |
| | | | | | | 件 数 | 共 済 金 支 払 額 | 件 数 | 共 済 金 支 払 額 |
| 乳 牛 | 27 | 3 | 291 | 39,258,120 | 134,908 | 183 | 3,839,470 | 36 | 4,592,332 |
| | 26 | 3 | 272 | 35,216,495 | 129,472 | 103 | 1,941,090 | 30 | 3,755,432 |
| | 増減 | 0 | 19 | 4,041,625 | 5,435 | 80 | 1,898,380 | 6 | 836,900 |
| | 率 | 0.0% | 7.0% | 11.5% | 4.2% | 77.7% | 97.8% | 20.0% | 22.3% |
| 肉(肥 用 育 牛) | 27 | 8 | 873 | 300,638,233 | 344,374 | 176 | 3,246,160 | 16 | 3,862,528 |
| | 26 | 8 | 866 | 270,012,976 | 311,793 | 146 | 2,841,610 | 30 | 7,019,926 |
| | 増減 | 0 | 7 | 30,625,257 | 32,580 | 30 | 404,550 | 14 | 3,157,398 |
| | 率 | 0.0% | 0.8% | 11.3% | 10.4% | 20.5% | 14.2% | 46.7 | 45.0 |
| 肉(そ の 他 牛) | 27 | 11 | 386 | 90,377,321 | 234,138 | 167 | 1,742,050 | 10 | 2,788,067 |
| | 26 | 11 | 448 | 80,199,064 | 179,016 | 160 | 1,447,040 | 16 | 2,224,284 |
| | 増減 | 0 | 62 | 10,178,257 | 55,122 | 7 | 295,010 | 6 | 563,783 |
| | 率 | 0.0% | 13.8 | 12.7% | 30.8% | 4.4% | 20.4% | 37.5 | 25.3% |
| 一 般 馬 | 27 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 26 | 1 | 12 | 1,200,000 | 100,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 増減 | 1 | 12 | 1,200,000 | 100,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 率 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | - | - | - | - |

(3) 畑作物共済

引受は、戸数 131 戸(対前年度 11 戸減)で、引受面積 6,178 a(対前年度 128 a増) 引受収量 43,258kg(対前年度 3,430kg増) 共済金額 61,671,983 円(対前年度 4,994,063 円増)となっている。

被害は、被害戸数 28 戸(対前年度 15 戸増)で、被害面積 904 a(対前年度 634 a増) 共済減収量 1,402kg(対前年度 1,097kg増) 共済金支払額 2,049,724 円(対前年度 1,608,084 円増)となっている。

第1表 業務量の比較

畑作物共済

(単位：戸・筆・a・kg・円)

| 共済目的 | 年度 | 引 受 状 況 | | | | | 被 害 状 況 | | | |
|--------|----|---------|-------|---------|------|------------|---------|--------|-----------|-------------|
| | | 戸 数 | 面 積 | 引 受 収 量 | 平均単収 | 共 済 金 額 | 戸 数 | 面 積 | 共 済 減 収 量 | 共 済 金 支 払 額 |
| 大 豆 | 27 | 131 | 6,178 | 43,258 | 99 | 61,671,983 | 28 | 904 | 1,402 | 2,049,724 |
| | 26 | 142 | 6,050 | 39,828 | 93 | 56,677,920 | 13 | 270 | 305 | 441,640 |
| | 増減 | 11 | 128 | 3,430 | 6 | 4,994,063 | 15 | 634 | 1,097 | 1,608,084 |
| | 率 | -7.7% | 2.1% | 8.6% | 6.5% | 8.8% | 115.4% | 234.8% | 359.7% | 364.1% |

(4) 園芸施設共済

引受は、戸数 16 戸(対前年度 2 戸減)で、引受棟数 26 棟(対前年度 10 棟減) 共済金額は

41,815,000 円 (対前年度 28,036,000 円増) となっている。

被害は、被害戸数 3 戸 (対前年度 2 戸減) で、棟数 3 棟 (前年度 3 棟減)、共済金支払額 75,326 円 (対前年度 181,687 円減) となっている。

第1表 業務量の比較

園芸施設共済

(単位: 戸・棟・㎡・円)

| 共済目的 | 年度 | 引 受 状 況 | | | | 被 害 状 況 | | | | |
|-------------------|----|---------|--------|-------|------------|------------|--------|--------|---------|-------------|
| | | 戸 数 | 棟 数 | 面 積 | 共 済 価 格 | 共 済 金 額 | 戸 数 | 棟 数 | 損 害 額 | 共 済 金 支 払 額 |
| ブラスチックハウス 内作無し | 27 | 16 | 26 | 9,313 | 52,292,000 | 41,815,000 | 3 | 3 | 94,358 | 75,326 |
| | 26 | 18 | 36 | 9,139 | 17,246,000 | 13,779,000 | 5 | 6 | 325,505 | 257,013 |
| | 増減 | 2 | 10 | 174 | 35,046,000 | 28,036,000 | 2 | 3 | 231,147 | 181,687 |
| | 率 | -11.1% | -27.8% | 1.9% | 203.2% | 2.0 | -40.0% | -50.0% | -71.0% | -70.7% |

2 予算の執行状況

(1) 収益的収支

収益的収支の執行状況は、第2表のとおりである。

収益的収入の合計は、予算額 87,536,000 円に対して、決算額は 69,589,415 円で、予算額に対して 17,946,585 円であり、その執行率は 79.5% となっている。

収益的支出の合計は、予算額 87,536,000 円に対して、決算額は 68,756,963 円で、不用額は 18,779,037 円であり、執行率は 78.5% となっている。

収益的収入

農作物共済勘定では、予算額 4,615,000 円に対して、決算額は 3,608,563 円 (執行率 78.2%) で、予算額に対して 1,006,437 円である。

家畜共済勘定では、予算額 31,216,000 円に対して、決算額は 25,919,062 円 (執行率 83.0%) で、予算額に対して 5,296,938 円である。

畑作物共済勘定では、予算額 15,554,000 円に対して、決算額は 6,379,224 円 (執行率 41.0%) で、予算額に対して 9,174,776 円である。

園芸施設共済勘定では、予算額 1,082,000 円に対して、決算額は 281,576 円 (執行率 26.0%) で、予算額に対して 800,424 円である。

業務勘定では、予算額 35,069,000 円に対して、決算額は 33,400,990 円 (執行率 95.2%) で、予算額に対して 1,668,010 円である。

収益的支出

農作物共済勘定では、予算額 4,615,000 円に対して、決算額は 3,608,563 円 (執行率 78.2%)

で、1,006,437 円の不用額である。

家畜共済勘定では、予算額 31,216,000 円に対して、決算額は 25,919,062 円(執行率 83.0%)で 5,296,938 円の不用額である。

畑作物共済勘定では、予算額 15,554,000 円に対して、決算額は 5,576,547 円(執行率 35.9%)で、9,977,453 円の不用額である。

園芸施設共済勘定では、予算額 1,082,000 円に対して、決算額は 251,801 円(執行率 23.3%)で、830,199 円の不用額である。

業務勘定では、予算額 35,069,000 円に対して、決算額は 33,400,990 円(執行率 95.2%)で、1,668,010 円の不用額である。

3 経営成績

第 2 表 収益的収支の執行状況

(単位：円・%)

| 区 分 | 収 入 | | | | 支 出 | | | | 当 該 年 度 純 利 益 |
|--------------------|------------|------------|------------|-------|------------|------------|------------|-------|------------------|
| | 予 算 額 | 決 算 額 | 増 減 | 執 行 率 | 予 算 額 | 決 算 額 | 不 用 額 | 執 行 率 | |
| 農 作 物 共 済 勘 定 | 4,615,000 | 3,608,563 | 1,006,437 | 78.2% | 4,615,000 | 3,608,563 | 1,006,437 | 78.2% | 0 |
| 家 畜 共 済 勘 定 | 31,216,000 | 25,919,062 | 5,296,938 | 83.0% | 31,216,000 | 25,919,062 | 5,296,938 | 83.0% | 0 |
| 畑 作 物 共 済 勘 定 | 15,554,000 | 6,379,224 | 9,174,776 | 41.0% | 15,554,000 | 5,576,547 | 9,977,453 | 35.9% | 802,677 |
| 園 芸 施 設 共 済 勘 定 | 1,082,000 | 281,576 | 800,424 | 26.0% | 1,082,000 | 251,801 | 830,199 | 23.3% | 29,775 |
| 業 務 勘 定 | 35,069,000 | 33,400,990 | 1,668,010 | 95.2% | 35,069,000 | 33,400,990 | 1,668,010 | 95.2% | 0 |
| 合 計 | 87,536,000 | 69,589,415 | 17,946,585 | 79.5% | 87,536,000 | 68,756,963 | 18,779,037 | 78.5% | 832,452 |

(1) 損益状況

損益状況の前年度比較は、第 3 表のとおりである。

全体で、収益 69,589,415 円に対して費用 68,756,963 円で、差引き 832,452 円の当年度純利益を計上している。

前年度と比べると、経常収益 3,432,431 円、経常費用 3,322,084 円と減少している。

勘定科目ごとに見ると、農作物共済勘定は、収益 3,608,563 円に対して、費用は 3,608,563 円で、当該年度純利益は発生していない。

家畜共済勘定は、収益 25,919,062 円に対して、費用は 25,919,062 円で、当該年度純利益は発生していない。

畑作物共済勘定は、収益 6,379,224 円に対して、費用は 5,576,547 円で、802,677 円の当該年度純利益となっている。

園芸施設共済勘定は、収益 281,576 円に対して費用は 251,801 円で、29,775 円の当該年度純利益となっている。

業務勘定は、収益、費用とも 33,400,990 円で当該年度純利益は 0 円となっている。

(2) 収 益

事業収益

事業収益は 65,179,005 円で、前年度に比べ 4,128,461 円(6.0%)減少している。主な原因としては、共済金が全体として 1,089,000 円(8.8%)、技術給付金が 1,104,133 円(44.1%)増加したが、業務勘定の受取補助金 5,800,000 円(19.7%)が減少したことによる。

事業外収益

事業外収益は 4,410,410 円で、前年度に比べ 696,056 円(19.0%)増加している。主に業務勘定における建物農機具共済推進協議会からの受取寄付金 745,000 円(21.0%)が増加したことによる。

(3) 費 用

事業費用

事業費用は 68,620,383 円で、前年度に比べ 1,891,574 円(2.7%)減少している。これは、保険料が全体で 738,542 円(21.0%)、大豆の生育不良などによる被害などの理由により畑作共済勘定の共済金が 1,608,084 円の増であり、共済金全体として 1,878,765 円(7.9%)増となったが、職員給与等の一般管理費 3,911,322 円(12.6%)減少したことによる。

事業外費用

今年度、事業外費用については、発生していない。

第3表 損益状況の比較

(単位:円・%)

| 区 分 | 農 作 物 共 済 勘 定 | | | | 家 畜 共 済 勘 定 | | | | 畑 作 物 共 済 勘 定 | | | | 園 芸 施 設 共 済 勘 定 | | | | 業 務 勘 定 | | | | 合 計 | | | |
|----------------------------------|---------------|-----------|-----------|-------|-------------|------------|-----------|-------|---------------|-----------|-----------|-------|-----------------|---------|---------|-------|------------|------------|-----------|-------|------------|------------|-----------|-------|
| | 平成27年度 | 平成26年度 | 増減額 | 増減率 | 平成27年度 | 平成26年度 | 増減額 | 増減率 | 平成27年度 | 平成26年度 | 増減額 | 増減率 | 平成27年度 | 平成26年度 | 増減額 | 増減率 | 平成27年度 | 平成26年度 | 増減額 | 増減率 | 平成27年度 | 平成26年度 | 増減額 | 増減率 |
| 営業収益合計 | 3,608,563 | 5,152,485 | 1,543,922 | 30.0 | 25,919,062 | 24,302,337 | 1,616,725 | 6.7 | 6,379,224 | 4,460,367 | 1,918,857 | 43.0 | 281,576 | 434,655 | 153,079 | 35.2 | 28,990,580 | 34,957,622 | 5,967,042 | 17.1 | 65,179,005 | 69,307,466 | 4,128,461 | 6.0 |
| 共 済 掛 金 | 1,824,238 | 2,128,951 | 304,713 | 14.3 | 6,944,947 | 6,032,665 | 912,282 | 15.1 | 4,534,474 | 4,062,891 | 471,583 | 11.6 | 197,666 | 187,818 | 9,848 | 5.2 | | | | | 13,501,325 | 12,412,325 | 1,089,000 | 8.8 |
| 交 付 金 | 142,301 | 320,868 | 178,567 | 55.7 | 0 | 62,005 | 62,005 | - | | | | | | | | | | | | | 142,301 | 382,873 | 240,572 | 62.8 |
| 保 険 金 | 878,302 | 975,516 | 97,214 | 10.0 | 11,776,237 | 12,385,830 | 609,593 | 4.9 | 1,844,750 | 397,476 | 1,447,274 | 364.1 | 67,793 | 231,308 | 163,515 | 70.7 | | | | | 14,567,082 | 13,990,130 | 576,952 | 4.1 |
| 受 取 診 療 補 填 金 | | | | | 1,743,660 | 1,244,570 | 499,090 | 40.1 | | | | | | | | | | | | | 1,743,660 | 1,244,570 | 499,090 | 40.1 |
| 技 術 給 付 費 | | | | | 3,606,623 | 2,502,490 | 1,104,133 | 44.1 | | | | | | | | | | | | | 3,606,623 | 2,502,490 | 1,104,133 | 44.1 |
| 連 合 会 特 別 交 付 金 | 0 | 272,381 | 272,381 | 100.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 272,381 | 272,381 | 100.0 |
| 責 任 準 備 金 戻 入 | 95,664 | 94,741 | 923 | 1.0 | 361,666 | 521,799 | 160,133 | 30.7 | | | | | 16,117 | 15,529 | 588 | 3.8 | | | | | 473,447 | 632,069 | 158,622 | 25.1 |
| 固 定 化 債 権 引 当 金 戻 入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法 定 積 立 金 戻 入 | 668,058 | 560,125 | 107,933 | 19.3 | 1,485,929 | 1,552,978 | 67,049 | - | | | | | | | | | | | | | 2,153,987 | 2,113,103 | 40,884 | 1.9 |
| 特 別 積 立 金 戻 入 | 0 | 799,903 | 799,903 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | 0 | 799,903 | 799,903 | 100.0 |
| 受 取 補 助 金 | | | | | | | | | | | | | | | | | 23,700,000 | 29,500,000 | 5,800,000 | 19.7 | 23,700,000 | 29,500,000 | 5,800,000 | 19.7 |
| 受 取 奨 励 金 | | | | | | | | | | | | | | | | | 222,076 | 221,511 | 565 | 0.3 | 222,076 | 221,511 | 565 | 0.3 |
| 賦 課 金 | | | | | | | | | | | | | | | | | 4,252,185 | 4,218,505 | 33,680 | 0.8 | 4,252,185 | 4,218,505 | 33,680 | 0.8 |
| 受 託 収 入 | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 13,500 | 13,500 | 100.0 | 0 | 13,500 | 13,500 | 100.0 |
| 損 害 防 止 収 入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受 取 損 害 防 止 事 業 負 担 金 | | | | | | | | | | | | | | | | | 806,200 | 986,300 | 180,100 | 18.3 | 806,200 | 986,300 | 180,100 | 18.3 |
| 事 業 勘 定 受 入 | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 業 務 雑 収 入 | | | | | | | | | | | | | | | | | 10,119 | 17,806 | 7,687 | 43.2 | 10,119 | 17,806 | 7,687 | 43.2 |
| 営業費用合計 | 3,608,563 | 5,079,614 | 1,471,051 | 29.0 | 25,919,062 | 24,302,337 | 1,616,725 | 6.7 | 5,576,547 | 3,601,679 | 1,974,868 | 54.8 | 251,801 | 423,371 | 171,570 | 40.5 | 33,264,410 | 37,104,956 | 3,840,546 | 10.4 | 68,620,383 | 70,511,957 | 1,891,574 | 2.7 |
| 保 険 料 | 0 | 9,599 | 9,599 | 100.0 | 572,824 | 199,985 | 372,839 | 186.4 | 3,526,823 | 3,160,039 | 366,784 | 11.6 | 158,759 | 150,241 | 8,518 | 5.7 | | | | | 4,258,406 | 3,519,864 | 738,542 | 21.0 |
| 技 術 料 | | | | | 4,872,536 | 4,511,304 | 361,232 | 8.0 | | | | | | | | | | | | | 4,872,536 | 4,511,304 | 361,232 | 8.0 |
| 共 済 金 | 3,513,210 | 3,902,067 | 388,857 | 10.0 | 20,070,607 | 19,229,382 | 841,225 | 4.4 | 2,049,724 | 441,640 | 1,608,084 | 364.1 | 75,326 | 257,013 | 181,687 | 70.7 | | | | | 25,708,867 | 23,830,102 | 1,878,765 | 7.9 |
| 無 事 戻 金 | 0 | 1,072,284 | 1,072,284 | 100.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 1,072,284 | 1,072,284 | 100.0 |
| 責 任 準 備 金 繰 入 | 95,353 | 95,664 | 311 | 0.3 | 403,095 | 361,666 | 41,429 | 11.5 | | | | | 17,716 | 16,117 | 1,599 | 9.9 | | | | | 516,164 | 473,447 | 42,717 | 9.0 |
| 固 定 化 債 権 引 当 金 繰 入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業 務 勘 定 繰 入 | | | | | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | |
| 固 定 化 債 権 引 当 繰 入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支 払 賦 課 金 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1,250,404 | 1,229,180 | 21,224 | 1.7 | 1,250,404 | 1,229,180 | 21,224 | 1.7 |
| 一 般 管 理 費 | | | | | | | | | | | | | | | | | 27,149,145 | 31,060,467 | 3,911,322 | 12.6 | 27,149,145 | 31,060,467 | 3,911,322 | 12.6 |
| 普 及 推 進 費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 損 害 評 価 費 | | | | | | | | | | | | | | | | | 3,134,678 | 2,902,025 | 232,653 | 8.0 | 3,134,678 | 2,902,025 | 232,653 | 8.0 |
| 損 害 防 止 費 | | | | | | | | | | | | | | | | | 806,200 | 986,300 | 180,100 | 18.3 | 806,200 | 986,300 | 180,100 | 18.3 |
| 負 担 金 | | | | | | | | | | | | | | | | | 854,640 | 857,641 | 3,001 | 0.3 | 854,640 | 857,641 | 3,001 | 0.3 |
| 業 務 雑 費 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減 価 償 却 費 | | | | | | | | | | | | | | | | | 69,343 | 69,343 | 0 | | 69,343 | 69,343 | 0 | |
| 営業収益(又は営業損失) | 0 | 72,871 | 72,871 | | 0 | 0 | 0 | | 802,677 | 858,688 | 56,011 | 6.5 | 29,775 | 11,284 | 18,491 | 163.9 | 4,273,830 | 2,147,334 | 2,126,496 | 99 | 3,441,378 | 1,204,491 | 2,236,887 | 186 |
| 営業外収益合計 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | | 4,410,410 | 3,714,354 | 696,056 | 19 | 4,410,410 | 3,714,354 | 696,056 | 19 |
| 受 取 寄 付 金 | | | | | | | | | | | | | | | | | 4,300,000 | 3,555,000 | 745,000 | 21.0 | 4,300,000 | 3,555,000 | 745,000 | 21.0 |
| 受 取 利 息 | | | | | | | | | | | | | | | | | 110,410 | 159,354 | 48,944 | 30.7 | 110,410 | 159,354 | 48,944 | 30.7 |
| 事業外費用合計 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 貸 倒 損 失 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業 務 引 当 金 繰 入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経常利益(経常損失) | 0 | 72,871 | 72,871 | | 0 | 0 | 0 | | 802,677 | 858,688 | 56,011 | 6.5 | 29,775 | 11,284 | 18,491 | 163.9 | 136,580 | 1,567,020 | 1,430,440 | 91.3 | 969,032 | 2,509,863 | 1,540,831 | 61.4 |
| 特別利益合計 | 0 | 13 | 13 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 13 | 13 | | 0 | 26 | 26 | |
| 過 年 度 損 益 修 正 益 | 0 | 13 | 13 | | | | | | | | | | | | | | 0 | 13 | 13 | | 0 | 26 | 26 | |
| そ の 他 特 別 利 益 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | |
| 特別損失合計 | 0 | 57 | 57 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 136,580 | 1,567,033 | 1,430,453 | | 136,580 | 1,567,090 | 1,430,510 | |
| 過 年 度 損 益 修 正 損 | 0 | 57 | 57 | | | | | | | | | | | | | | 0 | 33 | 33 | | 0 | 90 | 90 | |
| そ の 他 特 別 損 失 | | | | | | | | | | | | | | | | | 136,580 | 1,567,000 | 1,430,420 | | 136,580 | 1,567,000 | 1,430,420 | |
| 当 年 度 純 利 益 (又は当年度損失) | 0 | 72,827 | 72,827 | | 0 | 0 | 0 | | 802,677 | 858,688 | 56,011 | 6.5 | 29,775 | 11,284 | 18,491 | 163.9 | 0 | 0 | 0 | | 832,452 | 942,799 | 110,347 | 11.7 |
| 前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金 (又は欠損金) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 (又は欠損金) | 0 | 72,827 | 72,827 | | 0 | 0 | 0 | | 802,677 | 858,688 | 56,011 | 6.5 | 29,775 | 11,284 | 18,491 | 163.9 | 0 | 0 | 0 | | 832,452 | 942,799 | 110,347 | 11.7 |

4 財政状況

貸借対照表の前年度比較は、第 4 表のとおりである。

(1) 資産

資産総額は 65,558,623 円となっている。前年度と比較して 1,493,816 円 (2.2%) の減となっている。

流動資産

流動資産は 64,365,659 円となっている。前年度より 1,287,893 円 (2.0%) の減となった。主に業務勘定において未収金が 243,203 円 (12.7%) 増加したが、現金預金が 1,531,096 円 (2.4%) 減少したことによる。

固定資産

固定資産は 1,192,964 円で、前年度末に比べ 205,923 円 (14.7%) 減少している。

減価償却累計額 (差引) が 1,159,885 円増となったが、有形固定資産のうち車両運搬具が 1,365,808 円減となったことによる。

(2) 負債

負債は 8,376,954 円となっている。主に平成 26 年度より公営企業会計が改正され、固定負債のうち、賞与引当金を計上するようになったためである。業務引当金 4,353,168 円で、前年度末と同額である。

(3) 資本

資本は 57,181,669 円で、前年度末に比べ 1,321,535 円 (2.3%) 減少している。

剰余金は 56,349,217 円で、前年度末に比べ 1,211,188 円 (2.1%) 減少している。内訳は、法定積立金が 20,863,083 円で、前年度末に比べ 1,694,725 円 (7.5%) の減であるが、特別積立金は 35,486,134 円で、前年度末に比べ 483,537 円 (1.4%) 増加している。

当該年度末処分剰余金は、832,452 円となり、110,347 円 (11.7%) 減少している。

第4表 貸借対照表の比較

(単位:円・%)

| 区 分 | 農作物共済勘定 | | | | 家畜共済勘定 | | | | 畑作物共済勘定 | | | | 園芸施設共済勘定 | | | | 業務勘定 | | | | 内部取引消去 | | 合 計 | | | |
|------------------------|------------|------------|---------|-------|-----------|-----------|-----------|------|-----------|-----------|-----------|------|----------|---------|--------|-------|------------|------------|-----------|---------|------------|------------|------------|------------|-----------|------|
| | 平成27年度末 | 平成26年度末 | 対前年度増減 | | 平成27年度末 | 平成26年度末 | 対前年度増減 | | 平成27年度末 | 平成26年度末 | 対前年度増減 | | 平成27年度末 | 平成26年度末 | 対前年度増減 | | 平成27年度末 | 平成26年度末 | 平成27年度末 | 平成26年度末 | 平成27年度末 | 平成26年度末 | 対前年度増減 | | | |
| | | | 金額 | 率 | | | 金額 | 率 | | | 金額 | 率 | | | 金額 | 率 | | | | | | | 金額 | 率 | | |
| 資 産 | 45,445,883 | 46,114,252 | 668,369 | 1.4 | 7,462,667 | 8,773,830 | 1,311,163 | 14.9 | 6,202,341 | 5,399,664 | 802,677 | 14.9 | 436,513 | 403,642 | 32,871 | 8.1 | 63,750,509 | 65,471,029 | 1,720,520 | 2.6 | 57,739,290 | 59,109,978 | 65,558,623 | 67,052,439 | 1,493,816 | 2.2 |
| 流動資産 | 45,445,883 | 46,114,252 | 668,369 | 1.4 | 7,462,667 | 8,773,830 | 1,311,163 | 14.9 | 6,202,341 | 5,399,664 | 802,677 | 14.9 | 436,513 | 403,642 | 32,871 | 8.1 | 62,557,545 | 64,072,142 | 1,514,597 | 2.4 | 57,739,290 | 59,109,978 | 64,365,659 | 65,653,552 | 1,287,893 | 2.0 |
| 現金預金 | | | | | | | | | | | | | | | | | 62,207,074 | 63,738,170 | 1,531,096 | 2.4 | | | 62,207,074 | 63,738,170 | 1,531,096 | 2.4 |
| 一時貸付金 | 45,431,302 | 46,114,252 | 682,950 | 1.5 | 5,669,134 | 7,192,420 | 1,523,286 | 21.2 | 6,202,341 | 5,399,664 | 802,677 | 14.9 | 436,513 | 403,642 | 32,871 | 8.1 | | | | | 57,739,290 | 59,109,978 | 0 | 0 | 0 | |
| 未収金 | 14,581 | 0 | 14,581 | | 1,793,533 | 1,581,410 | 212,123 | 13.4 | | | | | | 0 | 0 | | 350,471 | 333,972 | 16,499 | 4.9 | | | 2,158,585 | 1,915,382 | 243,203 | 12.7 |
| 固定化債権引当金 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | | |
| 固定資産 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1,192,964 | 1,398,887 | 205,923 | 14.7 | 0 | 0 | 1,192,964 | 1,398,887 | 205,923 | 14.7 |
| 有形固定資産 | | | | | | | | | | | | | | | | | 3,408,776 | 4,774,584 | 1,365,808 | 28.6 | | | 3,408,776 | 4,774,584 | 1,365,808 | 28.6 |
| 減価償却累計額 (差引) | | | | | | | | | | | | | | | | | 2,859,872 | 4,019,757 | 1,159,885 | 28.9 | | | 2,859,872 | 4,019,757 | 1,159,885 | 28.9 |
| 拠出金 | | | | | | | | | | | | | | | | | 644,060 | 644,060 | 0 | 0.0 | | | 644,060 | 644,060 | 0 | 0.0 |
| 負債及び資本 | 45,445,883 | 46,114,252 | 668,369 | 1.4 | 7,462,667 | 8,773,830 | 1,311,163 | 14.9 | 6,202,341 | 4,540,976 | 1,661,365 | 36.6 | 436,513 | 403,642 | 32,871 | 8.1 | 63,750,509 | 65,471,029 | 1,720,520 | 2.6 | 57,739,290 | 59,109,978 | 65,558,623 | 67,052,439 | 1,493,816 | 2.2 |
| 負債 | 95,353 | 95,664 | 311 | 0.3 | 2,219,339 | 2,044,573 | 174,766 | 8.5 | | | | | 51,043 | 47,947 | 3,096 | 6.5 | 63,750,509 | 65,471,029 | 1,720,520 | 2.6 | 57,739,290 | 59,109,978 | 8,376,954 | 8,549,235 | 172,281 | 2.0 |
| 流動負債 | 95,353 | 95,664 | 311 | 0.3 | 2,219,339 | 2,044,573 | 174,766 | 8.5 | | | | | 51,043 | 47,947 | 3,096 | 6.5 | 57,930,341 | 59,305,861 | 1,375,520 | 2.3 | 57,739,290 | 59,109,978 | 2,556,786 | 2,384,067 | 172,719 | 7.2 |
| 一時借入金 | | | | | | | | | | | | | | | | | 57,739,290 | 59,109,978 | 1,370,688 | 2.3 | 57,739,290 | 59,109,978 | 0 | 0 | 0 | |
| 未払金 | | | | | 1,816,244 | 1,682,907 | 133,337 | 7.9 | | | | | 33,327 | 31,830 | 1,497 | 4.7 | 191,051 | 195,883 | 4,832 | 2.5 | | | 2,040,622 | 1,910,620 | 130,002 | 6.8 |
| 責任準備金 | 95,353 | 95,664 | 311 | 0.3 | 403,095 | 361,666 | 41,429 | 11.5 | | | | | 17,716 | 16,117 | 1,599 | 9.9 | | | | | | | 516,164 | 473,447 | 42,717 | 9.0 |
| その他流動負債 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | |
| 固定負債 | | | | | | | | | | | | | | | | | 5,820,168 | 6,165,168 | 345,000 | 5.6 | 0 | 0 | 5,820,168 | 6,165,168 | 345,000 | 5.6 |
| 賞与引当金 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1,467,000 | 1,812,000 | | | | | 1,467,000 | 1,812,000 | | |
| 業務引当金 | | | | | | | | | | | | | | | | | 4,353,168 | 4,353,168 | 0 | 0.0 | | | 4,353,168 | 4,353,168 | 0 | 0.0 |
| 資本 | 45,350,530 | 46,018,588 | 668,058 | 1.5 | 5,243,328 | 6,729,257 | 1,485,929 | 22.1 | 6,202,341 | 4,540,976 | 1,661,365 | 36.6 | 385,470 | 355,695 | 29,775 | 8.4 | | | | | | | 57,181,669 | 58,503,204 | 1,321,535 | 2.3 |
| 剰余金 | 45,350,530 | 45,945,761 | 595,231 | 1.3 | 5,243,328 | 6,729,257 | 1,485,929 | 22.1 | 5,399,664 | 4,540,976 | 858,688 | 18.9 | 355,695 | 344,411 | 11,284 | 3.3 | | | | | | | 56,349,217 | 57,560,405 | 1,211,188 | 2.1 |
| 法定積立金 | 15,867,175 | 16,510,957 | 643,782 | 3.9 | 2,221,954 | 3,707,883 | 1,485,929 | 40.1 | 2,603,478 | 2,174,134 | 429,344 | 19.7 | 170,476 | 164,834 | 5,642 | 3.4 | | | | | | | 20,863,083 | 22,557,808 | 1,694,725 | 7.5 |
| 特別積立金 | 29,483,355 | 29,434,804 | 48,551 | 0.2 | 3,021,374 | 3,021,374 | 0 | 0.0 | 2,796,186 | 2,366,842 | 429,344 | 18.1 | 185,219 | 179,577 | 5,642 | 3.1 | | | | | | | 35,486,134 | 35,002,597 | 483,537 | 1.4 |
| 当該年度未処分剰余金 (未処理不足金) | 0 | 72,827 | 72,827 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | | 802,677 | 858,688 | 56,011 | 6.5 | 29,775 | 11,284 | 18,491 | 163.9 | | | | | | | 832,452 | 942,799 | 110,347 | 11.7 |
| 繰越剰余金年度末残高 (不足金) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当該年度純利益 (純損失) | 0 | 72,827 | 72,827 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | | 802,677 | 858,688 | 56,011 | 6.5 | 29,775 | 11,284 | 18,491 | 163.9 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 832,452 | 942,799 | 110,347 | 11.7 |

公営企業会計の改正により、新に内部取引消去、賞与引当金を追加したため、必ずしも前年度比較とはならない勘定科目がある。

5 キャッシュ・フロー計算書

昨年度より義務付けられたキャッシュ・フロー計算書では、事業活動によって実際に得られた収入から外部への支出を差し引いて手元に残る資金の流れを表している。

予算では資金期末残高 10,758,000 円に対して、決算額では 12,207,074 円と 1,449,074 円多く残る結果となった。

資金期首残高 13,738,170 円より、平成 27 年度の資金減少額 1,531,096 円（業務活動によるキャッシュ・フロー 1,531,096 円、投資活動によるキャッシュ・フロー 0 円、財務活動によるキャッシュ・フロー 0 円）を減じた結果、資金期末残高は 12,207,074 円となった。

平成27年度 宍粟市農業共済事業キャッシュ・フロー計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日まで)

(単位:円)

| | 予定額 | 決算額 | 予定額との差額 |
|---------------------|--------------|--------------|-------------|
| 1. 業務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 共済掛金及び交付金収入 | 17,110,000 | 13,343,165 | 3,766,835 |
| 保険金収入 | 20,219,000 | 12,649,799 | 7,569,201 |
| 受取診療補填金及び技術給付金 | 2,619,000 | 1,656,630 | 963,370 |
| 受取補助金及び賦課金収入 | 35,369,000 | 28,174,261 | 7,194,739 |
| その他業務活動収入 | 3,452,000 | 4,699,620 | △ 1,247,620 |
| 保険料及び技術料支出 | △ 11,277,000 | △ 8,881,173 | △ 2,395,827 |
| 共済金支出 | △ 28,414,000 | △ 20,138,109 | △ 8,275,891 |
| 無事戻金支出 | △ 4,000 | 0 | △ 4,000 |
| 人件費支出 | △ 26,621,000 | △ 21,854,709 | △ 4,766,291 |
| その他の業務活動により支出 | △ 12,099,000 | △ 11,289,990 | △ 809,010 |
| 小計 | 354,000 | △ 1,641,506 | 1,995,506 |
| 利息の受取額 | 109,000 | 110,410 | △ 1,410 |
| 利息の支払額 | 0 | 0 | 0 |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー | 463,000 | △ 1,531,096 | 1,994,096 |
| 2. 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 定期預金の払戻による戻入 | 0 | 0 | 0 |
| 定期預金の預入による戻入 | 0 | 0 | 0 |
| 有価証券の償還による収入 | 0 | 0 | 0 |
| 有価証券の売却による収入 | 0 | 0 | 0 |
| 有価証券の取得による支出 | 0 | 0 | 0 |
| 有価固定資産の売却による収入 | 0 | 0 | 0 |
| 有価固定資産の取得による支出 | 0 | 0 | 0 |
| 無形固定資産の売却による収入 | 0 | 0 | 0 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 0 | 0 | 0 |
| その他の投資活動による収入 | 0 | 0 | 0 |
| その他の投資活動による支出 | 0 | 0 | 0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 0 | 0 | 0 |
| 3. 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 一時借入による収入 | 0 | 0 | 0 |
| 一時借入金の返済による支出 | 0 | 0 | 0 |
| 長期借入金による収入 | 0 | 0 | 0 |
| 長期借入金の返済による支出 | 0 | 0 | 0 |
| リース債務の返済による支出 | 0 | 0 | 0 |
| その他の財務活動による収入 | 0 | 0 | 0 |
| その他の財務活動による支出 | 0 | 0 | 0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 0 | 0 | 0 |
| 4. 資金増加(減少)額 | 463,000 | △ 1,531,096 | 1,994,096 |
| 5. 資金期首残高 | 10,295,000 | 13,738,170 | △ 3,443,170 |
| 6. 資金期末残高 | 10,758,000 | 12,207,074 | △ 1,449,074 |

6 まとめ

決算の概要は前述のとおりである。

元来、兼業農家がほとんどで一人当たりの耕作面積の少ない宍粟市では、農業を生業とすることが非常に難しい状況にある。加えて農業従事者の高齢化と担い手不足に伴い、耕作放棄地の拡大、食料自給率の低迷に加えて深刻な自然災害や野生鳥獣による被害の発生により、農家の経営環境は依然として厳しい現状にある。そうした状況のもと、農政においては「農林水産業・地域の活力創造プラン」を実現するため、戦後最大の改革が進行しており、その中で「収入保険制度」の調査検討が進められている。

総共済金額は1,148,677千円と前年度を上回る引受に対して、支払共済金額についても25,709千円と前年度を上回る結果となった。保険収支については832千円の剰余となった。

昨年の梅雨は曇天が続き、夏期の日照不足となった一方、1月以降には多雨にみまわれ、麦の発芽不足や生育の伸び悩みが見られた。また、米などは生育不順による未熟米、青米などが例年に比べれば多かったように思われる。また、鳥獣被害についてはある程度、防護柵の効果が見られたが、新たに人家近くの耕作地等での鳥獣被害が発生するようになった。また、ハクビシン、アライグマ、ヌートリア、日本サル等の被害が1箇所毎の被害額は少ないが市内全域に多発しており、農業従事者の耕作意欲を低下させている。支払金額で見れば、水稻で3,249千円(対前年度比 624千円、16.12%)、麦で265千円(前年度対比236千円・81.8%)、大豆で2,050千円(対前年度比1,608千円・363.8%)となっている。また、家畜では畜産農家の後継者不足等により引受戸数1戸減、引受頭数48頭減少したが、月齢別評価基準が上昇したことで共済金額は430,274千円(対前年度比43,645千円、11.3%)増加した。肥育牛等の出荷日前の高評価となる牛の事故、繁殖和牛における死廃事故などにより病傷、死廃あわせて20,071千円(対前年度比842千円・4.4%増)となった。園芸施設においては、高齢化により継続されない農家や経営規模縮小による引受戸数、棟数とも減少した。被害については台風による風害があったが、雪害が発生しなかったため3棟減少し75千円(対前年度比182千円・70.8%)と減少した。

損害防止事業については、昨年に引き続き鳥獣被害防護柵設置事業、鹿個体数管理・調整事業、有害鳥獣捕獲事業への費用助成や適期防除を促進するために市内10箇所において病虫害発生状況調査の実施、家畜共済では国が指定した疾病に対して予防衛生措置を実施した。

近年は高温、集中豪雨など異常気象に加え、耕作放棄地の増加により病虫害の住処となる草地が増加、耕作地に隣接するなど、クモヘリカメムシ等の新たな病虫害が大量に発生している。特に有機農業や減農薬栽培など農作物の付加価値を高めるためには病虫害対策は必要不可欠であることから関係機関との連携を図り病虫害発生状況等の情報提供など被害の未然防止の啓発に一層努められたい。

経営状況については、前年度と比べ純利益が832千円(対前年度比111千円、11.8%)となっている。勘定別にみると、当該年度純利益は農作物共済勘定0円、家畜共済勘定で0円、畑作物共済勘定で803千円、園芸施設共済勘定で30千円、業務勘定では0千円となっている。これによ

り、法定積立金と特別積立金は、全体で 1,211 千円の減となっている。

今後とも地域農政と連携を密に取りながら、損害防止事業の推進等により健全な財政運営を図りたい。更に加入推進を積極的に図り「災害による損失の補てんと損害の未然防止」の NOSAI 制度の機能を十分に発揮し、農業災害補償法の趣旨に添った加入者の利便性を高める損害補填の充実に努めることにより農家財産の安定に寄与されたい。